

取扱説明書

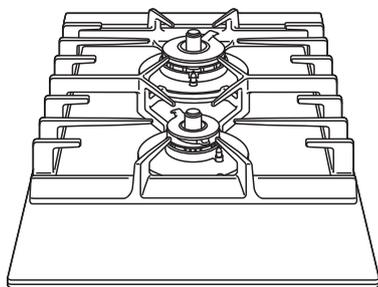
ガスドロップインコンロ

家庭用

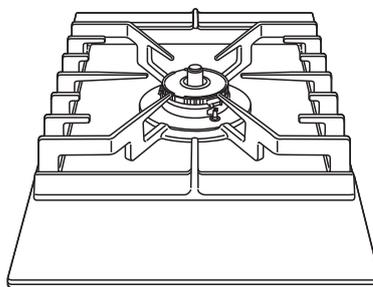
保証書付

Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

型 式	トッププレート
RHD322GM1TA RHD312GM1RA	ガラストップ (レンジフード連動機能付)



RHD322GM1TA



RHD312GM1RA

ご愛用の皆様へ

- このたびはリンナイ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- この取扱説明書の他に設置説明書があります。
機器の移設・取り替え・修理の際に必要となりますので、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと著しく寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト Rinnai Style (<https://www.rinnai-style.jp/>) または、お買い上げの販売店にてお買い求めください。



(工場管理)

JS0049-033(00)

06000005249420

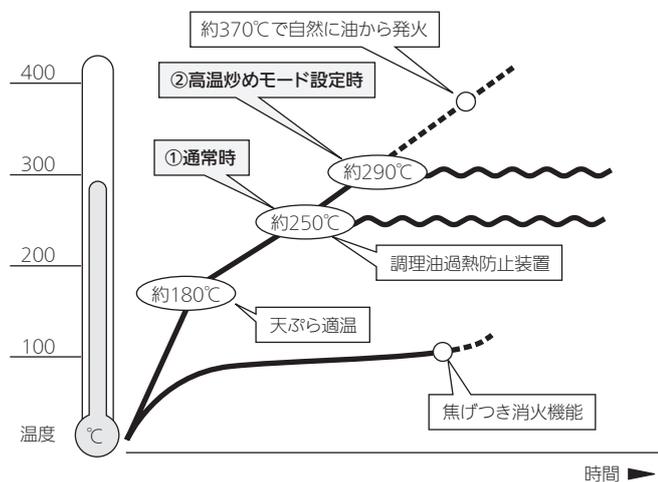
Rinnai

なるほど安心 Si センサーコンロ

温度を見守る温度センサーで、
安心便利機能を充実させた新しいコンロです。

- 万一の消し忘れや調理油の過熱を未然に防止
- 鍋底が高温になると、火力を自動で調節する**安全設計**
- 煮ものなどで焦げついた場合、鍋を傷める前に**自動消火**

◇温度センサーのはたらき



①通常時

温度センサーのはたらきにより、炒めものやいりものなど比較的温度的の高い調理や、鍋の空焼きをしたときに、火力を自動で調節したり、自動で火を消したりします。

②高温炒めモード設定時

高温炒めモードは温度センサーがまったくはたらかなくなる機能ではなく、①通常時よりも高い温度まで調理できる機能です。

高温炒めモードを使用した場合でも、鍋の異常過熱を防ぐために、火力を自動で調節したり、自動で火を消したりします。高温炒めモードに設定してから、最長60分（火力自動調節に入ってから約30分）で、自動で火を消します。

高温炒めモード設定中は、焦げつき消火機能や調理油過熱防止装置は、はたらきません。

お問い合わせの多い項目です

1 勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

- Si センサーコンロの安全機能がはたらいています。

2 高温炒めモードに設定したのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

- すべての安全機能が解除されたわけではありません。

3 点火操作をしても点火しなかったり、使用中に火が消えたりする

詳しくは 36 ページ

もくじ

各部のなまえ 3

安全なご利用のために

安全上のご注意 6

このコンロについて

知っておいていただきたいこと ... 15

安全機能 16

毎日の使いかた

基本の操作 17

揚げもの・焼きものをする 19

タイマーを使う 21

炒めもの・いりものをする 23

各種設定の変更 (カスタマイズ機能) ... 25

レンジフード連動機能 27

長くご利用いただくために

日常点検とお手入れの道具 29

部品の取り付けと取りはずし 31

お手入れのしかた 33

よくあるご質問 (Q&A) 36

ブザーが鳴って、こんな表示が出たら ... 41

停電時のご使用について 43

交換部品・別売品のご紹介 44

長期間使用しない場合 / 仕様 45

アフターサービス / 廃棄するときは ... 46

保証書 裏表紙

警告



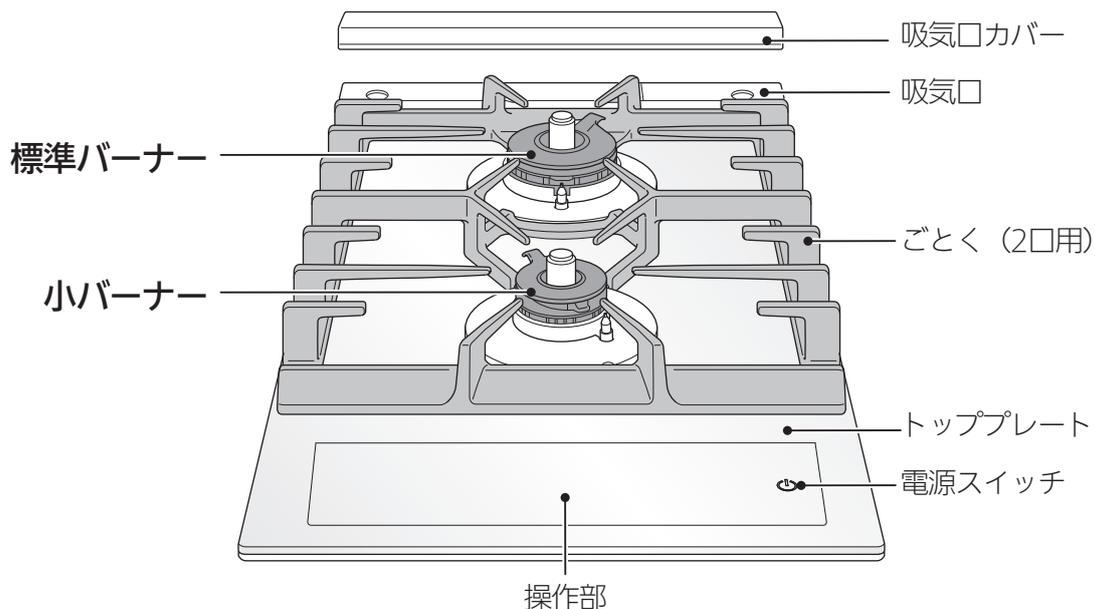
■ 焼網は使用しない

トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。

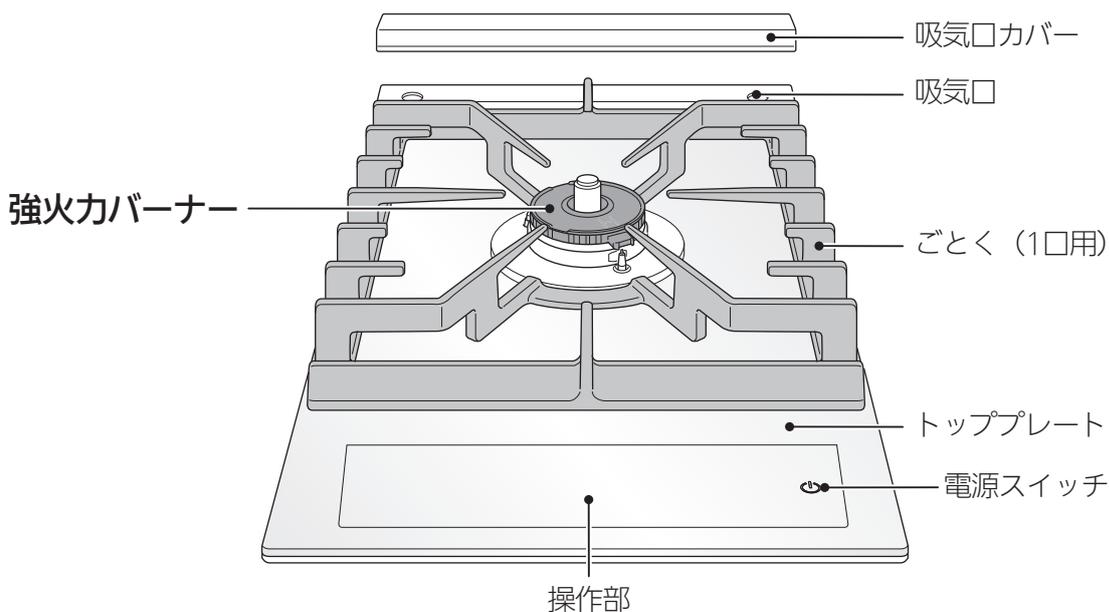
各部のなまえ

各部のなまえ

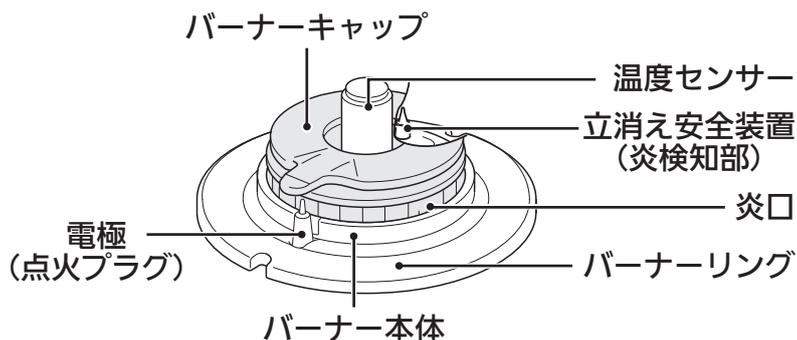
RHD322GM1TA の場合



RHD312GM1RA の場合

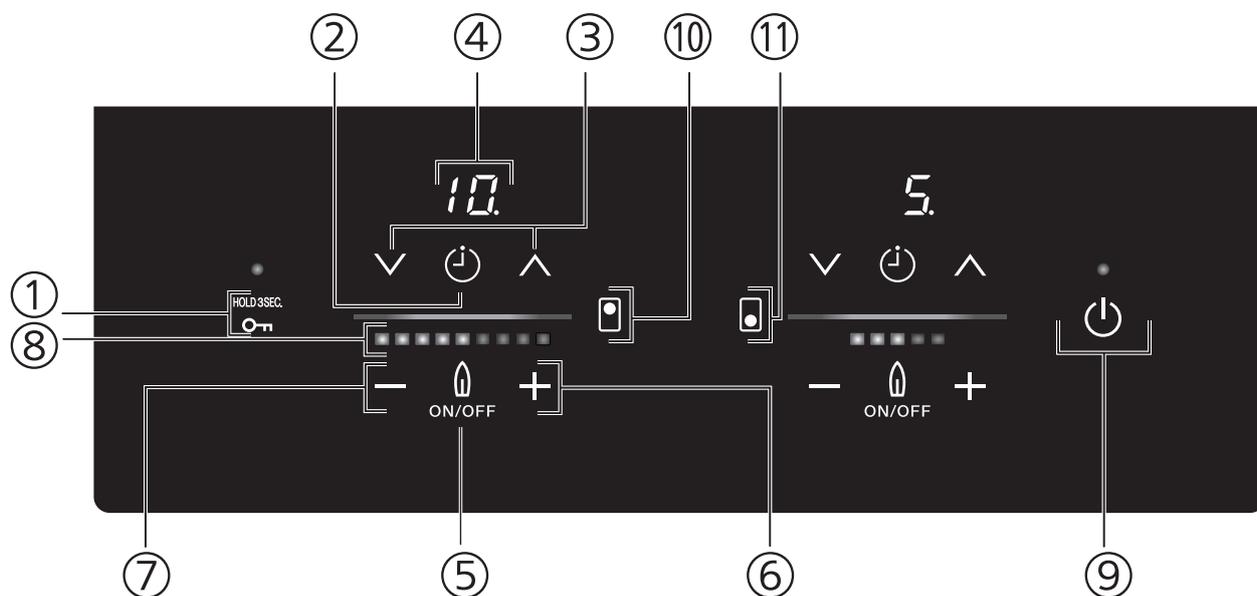


バーナー部



操作部

● RHD322GM1TA の場合



①	ロックスイッチ	すべてのスイッチのロックを設定、解除するときに使用します。
②	タイマースイッチ	時間を設定するときに使用します。
③	タイマーセットスイッチ	1～120分まで設定できます。
④	タイマー表示部	設定した時間が表示されます。
⑤	ON/OFF スイッチ	点火を開始、消火するときに使います。
⑥	点火／火力アップスイッチ	点火する、火力を強くするときに使用します。
⑦	火力ダウンスイッチ	火力を弱くするときに使用します。
⑧	火力表示ランプ	調節した火力が表示されます。
⑨	電源スイッチ	電源を入れる、切るときに使用します。
⑩	後コンロ（標準バーナー）表示ランプ	—
⑪	前コンロ（小バーナー）表示ランプ	—

ワンポイント

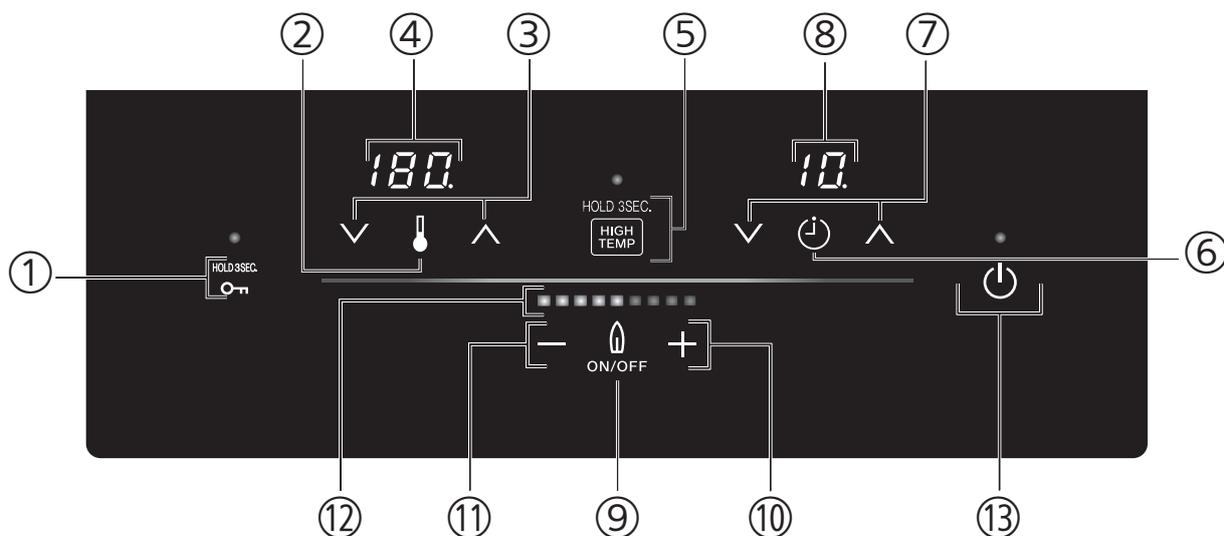
タッチスイッチ



各スイッチはスイッチの中心を軽く指で触れるだけで操作できます。

操作部

● RHD312GM1RA の場合



①	ロックスイッチ	すべてのスイッチのロックを設定、解除するときに使用します。
②	温度設定スイッチ	温度を設定するときに使用します。
③	温度セットスイッチ	130 ~ 220℃まで設定できます。
④	温度表示部	設定した温度が表示されます。
⑤	高温炒めスイッチ	炒めもの・いりもの・あぶりものなどで急に火が小さくなったり、消えてしまう場合に使用します。
⑥	タイマースイッチ	時間を設定するときに使用します。
⑦	タイマーセットスイッチ	1 ~ 120分まで設定できます。
⑧	タイマー表示部	設定した時間が表示されます。
⑨	ON/OFF スイッチ	点火を開始、消火するときに使います。
⑩	点火／火力アップスイッチ	点火する、火力を強くするときに使用します。
⑪	火力ダウンスイッチ	火力を弱くするときに使用します。
⑫	火力表示ランプ	調節した火力が表示されます。
⑬	電源スイッチ	電源を入れる、切るときに使用します。

ワンポイント

タッチスイッチ



各スイッチはスイッチの中心を軽く指で触れるだけで操作できます。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示には次のような意味があります。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です



火気禁止



接触禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です



換気必要



アース線を必ず接続する

危険

ガス漏れに気づいたら



火気禁止

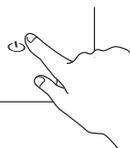
- 絶対に火をつけない
 - 電気器具（換気扇など）のスイッチの入 / 切をしない
 - 電源プラグの抜き差しをしない
 - 周辺で電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



■ すぐに使用を中止する

- ① 電源スイッチを押して、火を消す。
- ② ガス栓（ねじガス栓）を閉める。
- ③ 窓や戸を開けガスを外へ出す。
- ④ 外に出て、もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。

①



②



③





警

告

トップレートについて



- 衝撃を加えない
- 上にのらない

トップレートにひびが入り、けがなどの思わぬ事故の原因になります。万一ひびが入ったり、割れた場合は絶対に触らず、すぐにお買い上げの販売店、または当社お客様センター（フリーダイヤル：0120-054-321）にご相談ください。

※特にトップレート端面には衝撃を加えないでください。ひびや欠けが入り、けがの原因になります。

使用中は



- 機器から離れない
- 就寝・外出をしない

● 調理中のものが異常過熱し、火災の原因になります。特に天ぷら、揚げものをしているときは注意してください。

● 電話や来客の場合は、必ず電源スイッチを押して、火を消してください。

使用してはいけないもの



- コンロをおおうような大きな鉄板や鍋
- 機器に付属または機器指定以外の補助具（アルミはく製する受け、省エネごとく、グリル補助具など）

一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。

- 焼網

トップレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。

使用時や使用後は



- 点火・消火の確認をする
- ガス栓（ねじガス栓）を閉める

消し忘れによる火災の原因になります。必ず電源スイッチを押して、火を消してください。

異常時は



- 電源スイッチを押して、火を消し、ガス栓（ねじガス栓）を閉める

地震、火災、異常な燃焼・臭気・異常音を感じたときは、すぐに使用を中止してください。

☎ 36～42ページを確認し、必要に応じてお買い上げの販売店、または当社お客様センター（フリーダイヤル：0120-054-321）にご連絡ください。



警

告

近くに置いてはいけないもの



■爆発のおそれがあるもの

圧力が上がり、爆発のおそれがあります。

- スプレー缶
- カセットコンロ用ボンベなど

■引火しやすいもの

火災の原因になります。

- スプレー・ガソリン・ベンジンなど

■燃えやすいもの

火災の原因になります。

- 機器の上方に調味料ラックなど
- ペットボトル・プラスチック類
- ふきんやタオル・調理油など



■温度センサーが正常にはたらかないような改造や取りはずしは、絶対にしない

火災の原因になります。



■身体や衣服が炎に近づかないように注意する

衣服に炎が移ってやけどのおそれがあります。また、温度センサーがはたらいて炎が自動的に大きくなったり、風で炎があおられて鍋底からあふれ、衣服に移ることがありますので、注意してください。

揚げものの調理をするときは

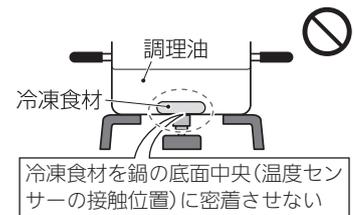


■高温炒めモードで揚げものの調理をしない

調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。

■冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない

鍋の底面中央（温度センサーの接触位置）に冷凍食材が密着した状態で揚げものの調理をすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。



■複数回使った調理油で揚げものをしない

発火が起こりやすくなる場合があります。何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。

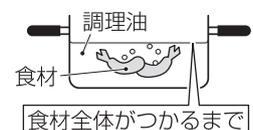
■揚げ過ぎない

長時間揚げ過ぎると油が飛び散り、発火や、やけどのおそれがあります。豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものなどは、特に注意してください。



■揚げものは食材全体がつかるまで調理油（必ず 200ml 以上）を入れて行う

調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、発火するおそれがあります。特にフライパンなどの底が広い鍋で揚げものをする際は、食材全体が調理油につかっていないと、発火するおそれがあります。



安全上のご注意 (使用編)

警告

■調理油の廃油凝固剤使用時に油を加熱するときは、絶対に機器から離れない
廃油凝固剤を入れ過ぎたり、加熱し過ぎると、発火するおそれがあります。廃油凝固剤の分量を守り、調理油の温度が上がり過ぎないように注意し、溶けたらすぐに消火してください。

■トップレート上の吸気口の上にふきんをのせたり、吸気口をアルミはくや油ガードなどでふさがない
異常燃焼による一酸化炭素中毒や火災、機器焼損の原因になります。
機器を囲う油ガードなどは、機器から離して設置してください。

注意

■使用中、使用直後は操作部以外は触らない
やけどのおそれがあります。
特にお子様がいる家庭ではご注意ください。

■点火するときや使用中は、バーナー付近に顔を近づけ過ぎない
炎や熱で顔をやけどするおそれがあります。

■点火しない場合は、ON/OFF スイッチを押して消灯し、
周囲のガスがなくなってから再度点火する
すぐに点火操作をすると周囲のガスに引火して、衣服に燃え移ったり、やけどのおそれがあります。

使用中は

■調理以外に使用しない
衣類の乾燥や練炭の火起こしなどをすると、火災や機器損傷の原因になります。

■機器に風を当てない

扇風機やエアコンなどの風が当たると安全機能が正しくはたらかず、機器損傷や誤作動の原因になります。

■必ず換気扇を回すか、窓を開ける
換気をしないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

換気必要
下記の場合は、換気扇を回さずに窓を開けてください。

- 屋内設置（密閉式は除く）の給湯器を使用している場合
- 屋内設置のふろがまを使用している場合

換気扇を回すと、排気が逆流して一酸化炭素中毒のおそれがあります。

■乳幼児や子供に触らせないように注意する
やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。

- ❌ **■操作部には次のようなことはしない**
 けがや機器損傷、誤動作の原因になります。
- 手をつく
 - 調理器具（鍋、やかん、フライパンなど）を置く
 - 熱い鍋やフライパンなどを置く
 - 調味料や菜箸などのものを置く
 - 水や洗剤をかける

- ❌ **■温度センサーに強いショックや力を加えたり、傷をつけない**
 変形や傾きにより温度センサーが正しくはたらかなくなり、調理油が発火するおそれがあります。

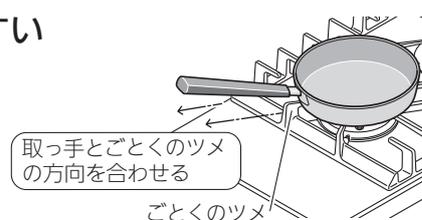


使用する鍋などについて

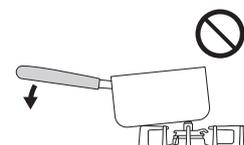
- ❌ **■石焼きもつぼなどの空焼きをする調理具は使用しない**
 異常過熱による機器損傷の原因になります。

- 片手鍋や小径鍋、へこんだ底・丸い底・滑りやすい底の鍋は不安定な状態で使用しない

鍋が傾いたり、滑ってやけどのおそれがあります。鍋の取っ手はごとのツメと同じ向きに置いて機器手前にはみ出さないようにし、中華鍋などの丸底鍋は取っ手を持って調理するなど、安定した状態で使用してください。



- ! **■軽い鍋は調理物を含めて 300 g 以上で調理する**
 軽い鍋や取っ手が重い片手鍋は、温度センサーによって押し上げられて傾いたり、滑ってやけどのおそれがあります。調理中にふたを取ったり、水分の蒸発などで軽くなっても鍋が傾くことがありますので、取っ手を持って安定した状態で使用してください。



- 陶器製鍋を使用する場合は、長時間の使用は避け、中火以下の火力で使用する
 異常過熱による機器損傷の原因になります。

RHD322GM1TA の場合

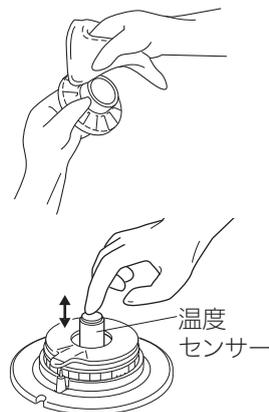
- ! **■手前の小バーナーで大きな鍋を使うときは注意する**
 炎や排気熱、および高温の鍋に手が触れるとやけどのおそれがあります。また、操作部が熱くなります。直径 16cm より大きな鍋は、ごとの中心部に置くと操作部側にはみ出すため、鍋に触れないよう注意してお使いいただくか、後ろの標準バーナーをお使いください。

⚠ 注 意

- ❗ ■やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する
火力が強いと取っ手が焼損したり、手を触れるとやけどのおそれがあります。

機器の点検・お手入れ・まわりのお掃除の際は

- ❗ ■機器が冷めていることを確認する
調理後は、高温のため触れると、やけどのおそれがあります。
- ガス栓（ねじガス栓）を閉める
誤って点火した場合、やけどのおそれがあります。
- ロックをして、電源を切る  18ページ
不用意な点火を防ぎます。
- 必ず手袋をする
手袋をしないとけがのおそれがあります。
- バーナーキャップに煮こぼれがかかったときは、必ずお手入れする
- バーナーキャップを水洗いしたときは、水気を十分ふき取ってから取り付ける
炎口がぬれたまま使用すると、点火しなかったり、異常燃焼の原因になります。
- 温度センサーのお手入れは、汚れたらそのつど行い、上下にスムーズに動くことを確認する
 - 動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどのおそれがあります。
 - スムーズに動かない場合は、必ず点検・修理を依頼してください。



お願い

機器のご使用は

- 使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。
- 火力を弱火にしたときは、消し忘れに注意してください。
- ガス栓（ねじガス栓）を操作して火を消さないでください。
やけどや思わぬ事故の原因になります。
- 使うバーナーの操作ボタンを間違えないように注意してください。
- 雷が発生したときは、機器の使用を中止し、専用ブレーカーを切ってください。雷による一時的な過電流で、電子部品を損傷することがあります。専用ブレーカーを入れ直すときは、機器の上には何も置かず、5秒程度機器に触れないでください。操作感度の低下やエラー（76）が表示されて操作できなくなるおそれがあります。
- トッププレートの上や近くで、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。磁力線により機器が故障する原因になります。

コンロのご使用は

- 調理中に鍋をのせかえるときは、いったん火を消してください。
- 強火で長時間使用すると土鍋やホーローなど、鍋の種類によっては、ごとくがくっつくことがあります。長時間使用した後に鍋を動かすときは、鍋とごとくがくっついていないことを確認してください。ごとくがくっついた場合は、すみやかに元の位置に戻し、機器が冷めてから鍋をゆするなどしてごとくをはずしてください。くっついたまま動かすと、不意にごとくが落下することがあり、やけどやけが、機器損傷のおそれがあります。
- 煮こぼれに注意し、火力を調節してください。
煮こぼれすると機器内部やキャビネット内部のものなどが汚れます。また、トッププレート・ごとく・バーナーなどに煮こぼれが焼きついたりして、機器を傷めるおそれがあります。
- 熱くなった鍋などをトッププレートのラベルの上に直接置かないでください。
ラベルが熱で変色したり、損傷したりすることがあります。

突沸現象について

- カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などを煮たり、温めたりするときは、突沸に注意してください。

突沸現象とは？

突然に沸とうする現象です。水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときにささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。
この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけが、機器損傷のおそれがあります。

予防方法

- カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁物の温めは、弱火でかき混ぜながら加熱してください。（強火で急に加熱しない）
- 熱い汁物に、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行ってください。
- 鍋の大きさにあった火力で加熱してください。

警告



分解禁止

■機器の設置や移動・分解・修理・改造は絶対に行わない

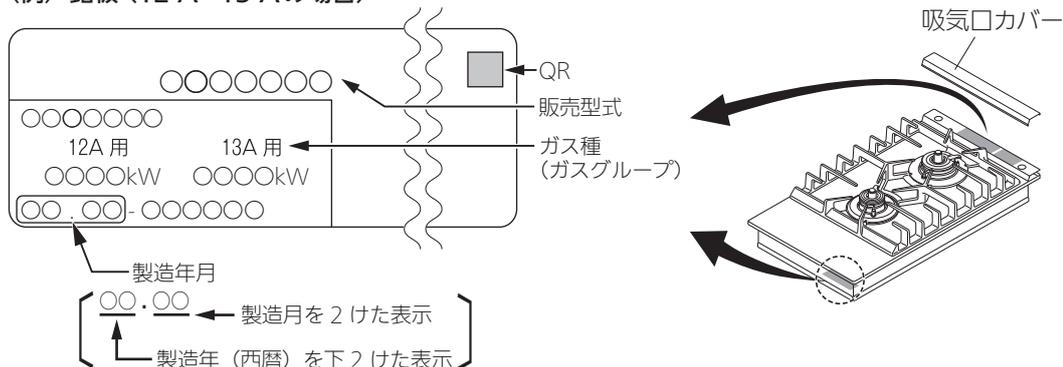
一酸化炭素中毒、ガス漏れ、火災、作動不良の原因になります。
 専門の技術・資格が必要ですので、機器の設置・移動・取りはずし・買い替えの際には必ず
 お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。



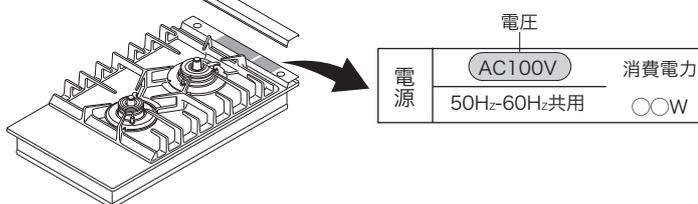
■供給ガスと銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）が一致していることを確認する

- 供給ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する原因になりますので、使用しないでください。
- 使用電源の電圧と一致していない場合、そのまま使用すると火災や感電の原因になります。また、故障の原因にもなります。
- 銘板は機器本体裏面と機器後方の吸気口上面（吸気口カバーをはずした下側）に貼ってあります。また、電気用銘板は吸気口上面（吸気口カバーをはずした下側、銘板のとなり）に貼ってあります。
 供給ガスの種類がわからない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのガス事業者にお問い合わせください。
- 転居されたときも、供給ガスの種類および電源の種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。

〈例〉銘板（12 A・13 Aの場合）



〈例〉電気用銘板



電源（電圧・周波数）は「仕様」 45ページ
 をご確認ください。



警

告



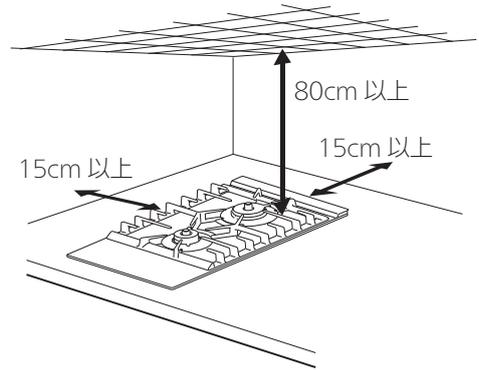
■可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。以下の場合は、必ず別売の防熱板を取り付けてください。

- 可燃性の壁（ステンレスやタイルを貼った可燃性の壁も含む）との距離を右図のようにとれない場合

防熱板はお買い上げの販売店、またはよりのガス事業者にお問い合わせください。

■設置後機器の周辺を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す



(可燃性の壁の場合)

電源コード・プラグは



ぬれ手禁止

■ぬれた手で抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。



■切断して延長しない

機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因になります。

■傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない

感電や火災の原因になります。

■電源コードを持って引き抜かない

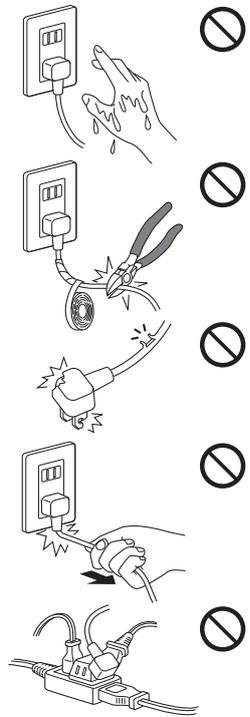
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、感電・ショート・火災や機器故障の原因になります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■無理な力を加えたり、重いものをのせたりしないたばねたまま使用しない

感電・発熱による火災の原因になります。



■電源プラグの根元までしっかりコンセントに差し込む

感電や火災の原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

アース線は



アース線を必ず接続する

■アース線を確実に取り付ける

- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- アースの取り付けはお買い上げの販売店、または当社お客様センター（フリーダイヤル：0120-054-321）にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

温度センサーについて

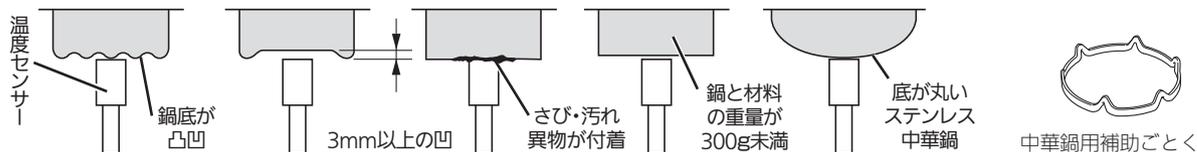
温度センサーを正しくはたらかせるために、必ずお読みください。

警告



■温度センサーの上面と鍋底が密着していないときは使用しない

- 温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できずに、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
- 中華鍋用補助ごとくを使用すると、温度センサーが鍋底に密着しない原因になります。



■耐熱ガラス容器、土鍋など熱の伝わりにくいもの、底が浅く広い鍋での油調理はしない

油の温度が上がりやすく発火するおそれがあります。

お使いできる鍋

○：適しています ×：適していません（温度を正しく検知できません。）

鍋の種類		油調理 (油の量 200ml 以上) 炒めもの調理	その他の調理
鍋	材質：アルミ、銅、鉄、ホーロー	○	○
	材質：ステンレス	厚手：2.5mm 以上	○
		薄手：2.5mm 未満	×
中華鍋 フライパン	材質：アルミ、銅、鉄	○	○
	材質：ステンレス (底が平らなもの)	厚手：2.5mm 以上	○
		薄手：2.5mm 未満	×
無水鍋 多層鍋		○	○
土鍋 耐熱ガラス容器 圧力鍋		×	○ (火が消える場合があります)
やかん		—	○

※「温度設定モード」で調理する場合は、温度設定モードに適した鍋を使用してください。
(型式 RHD312GM1RA のみ) 19 ページ

お願い

中華鍋を使うときは

- 必ず取っ手を持って調理してください。
- 鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから、使用してください。
- 中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらかしません。

調理油過熱防止装置

（強火力バーナー）（標準バーナー）（小バーナー）

調理油が過熱されると、火力を自動で調節し発火を防ぎます。この状態が約30分続くか、または弱火の状態でも温度の上昇が続くと、自動で火を消します。

立消え安全装置

（強火力バーナー）（標準バーナー）（小バーナー）

煮こぼれや風などで火が消えると、ガスを自動で止めます。

消し忘れ消火機能

（強火力バーナー）（標準バーナー）（小バーナー）

点火後、約2時間で自動で火を消します。消し忘れ消火機能の時間は、変更することができます。☞ 25 ページ

※コンロタイマー設定中は、消し忘れ消火機能は、はたらきません。

焦げつき消火機能

（強火力バーナー）（標準バーナー）（小バーナー）

煮もの調理などで鍋底が焦げつくと、自動で火を消しますが、鍋の材質、調理物の種類、火力によって焦げの程度は異なります。

※鍋底にこんぶや竹皮などを敷いた調理では、焦げつき消火機能が正常にはたらかないことがあります。

ロック機能

（強火力バーナー）（標準バーナー）（小バーナー）

幼いお子様のいたずらや誤ってスイッチを押してしまうなどの誤動作も、作動しないようにロックすることができます。

ロックスイッチを3秒以上長押しすると、電源スイッチ以外の操作スイッチがすべてロックされます。

電源スイッチを「切」にしても、ロックを解除するまでロック状態を記憶しています。

☞ 18 ページ

中火点火機能

（強火力バーナー）

点火時の炎あふれを抑えるために、中火で点火します。☞ 17 ページ

電源オートオフ機能

（強火力バーナー）（標準バーナー）（小バーナー）

調理後、電源を切り忘れても、3分後に自動で電源を切ります。

電源オートオフ機能の時間は変更することができます。☞ 25 ページ

高温自動温度調節機能

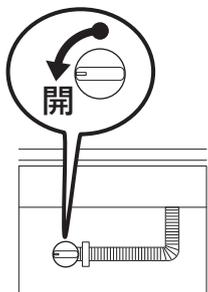
（強火力バーナー）（標準バーナー）（小バーナー）

炒めもの調理・いりもの調理など比較的温度の高い調理や、鍋の空焼きをしたときに火力を自動で調節し、鍋の異常過熱を防止します。鍋底が高温になると、ブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせし、火力を自動で調節します。この状態が約30分続いた場合、または弱火状態でもセンサー温度がさらに上昇した場合は、自動で火を消します。調理に支障があるときは、高温炒めモード（強火力バーナー）をお使いください。

☞ 23 ページ

準備

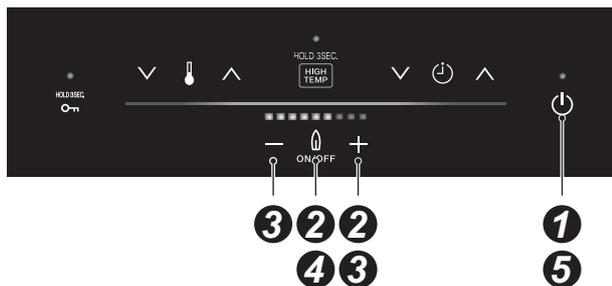
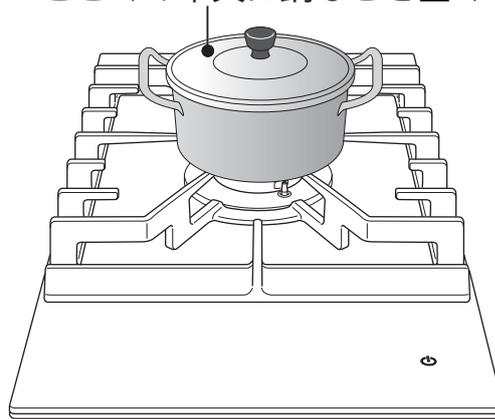
ガス栓 (ねじガス栓) を
左に回し、全開にする。



! ロックが解除されているか、確認する。
「不用意な点火を防ぐには(ロック)」
☞ 18 ページ をご覧ください。

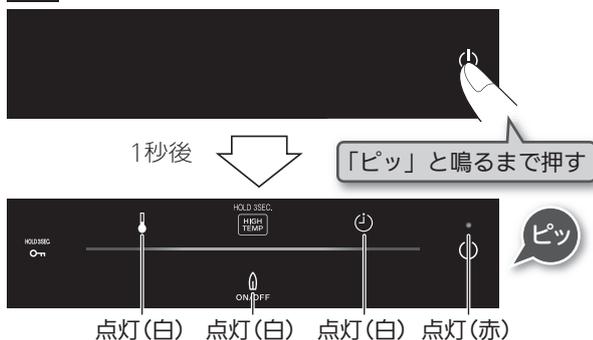
図は RHD312GM1RA で説明しています。

ごとの中央に鍋などを置く



1 電源を入れる

! スイッチを押す。



お願い

- スイッチの上に煮こぼれ、水、洗剤、ものなどがのっていると、スイッチが正常に作動しません。すべて取り除いて使用してください。

お願い

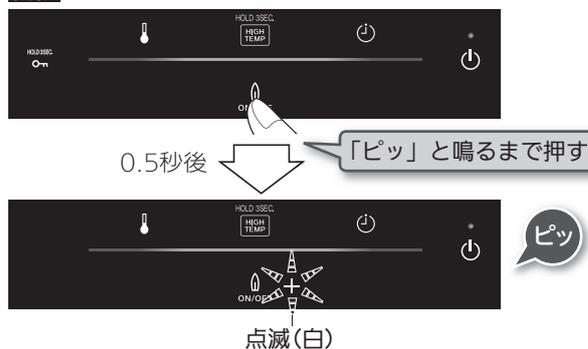
- ON/OFF スイッチを押し続けた場合、点火/火力アップスイッチの表示が消灯し、点火できなくなります。点火/火力アップスイッチが表示されたら、すぐに手を離してください。
- 点火/火力アップスイッチの表示が点滅した後、10 秒以内に点火操作をしないと、点火/火力アップスイッチの表示が消灯し、点火できなくなります。点火を続けるには、もう一度 ON/OFF スイッチを押してください。

お知らせ

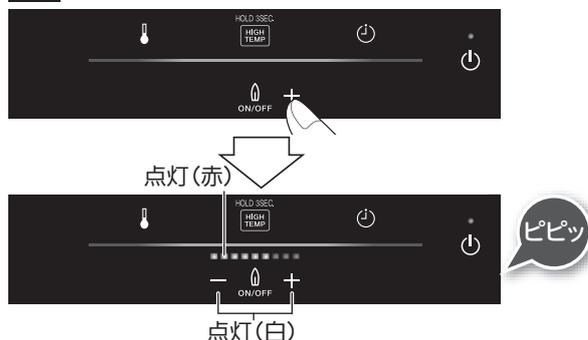
- 点火すると、強火力バーナーは火力 6 (左側から 6 番目) まで赤色で点灯します。(中火点火機能) ☞ 16 ページ
また、標準バーナーは最大火力 9 (左側から 9 番目) まで、小バーナーは最大火力 5 (左側から 5 番目) まで赤色で点灯します。

2 点火する

! スイッチを押す。



+ スイッチを押す。

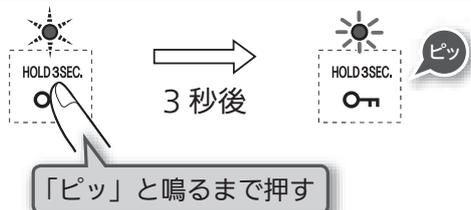


ワンポイント

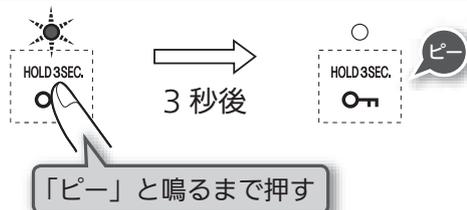
不用意な点火を防ぐには（ロック）

幼いお子様のいたずらや誤動作を防ぐため、操作スイッチをロックすることができます。電源を入れ、消火していることを確認してください。

ロックするとき



ロックを解除するとき



○ 消灯 点灯 点滅

※電源スイッチを「切」にしても、ロックを解除するまでロック状態を記憶しています。

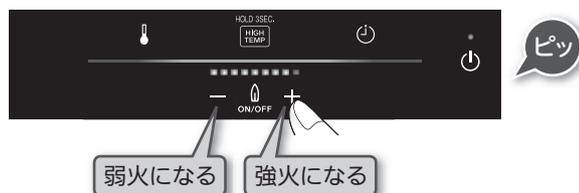
基本の操作（使いかた）

③ 火力を調節する

− + スイッチを押す。

強火力バーナー・標準バーナー：火力 1 から火力 9 まで調節できます。

小バーナー：火力 1 から火力 5 まで調節できます。



押すたびに、ランプの赤色点灯が増加・減少します。

減少のみ、押し続けると火力 1 まで設定できます。

お願い

- 火力は鍋などの径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。

お知らせ

- 強火力バーナー・標準バーナーは火力 9 の位置、小バーナーは火力 5 の位置になると、点火／火力アップスイッチが消灯します。また、全バーナー火力 1 の位置になると、火力ダウンスイッチが消灯します。

④ 火を消す

ON/OFF スイッチを押す。



火が消えます。0.5秒後



お願い

- 必ず火が消えたことを確認してください。

⑤ 電源を切る

ON/OFF スイッチを押す。



1秒後

「ピー」と鳴るまで押す



消灯

揚げもの・焼きものをする

※本機能は RHD312GM1RA に搭載しています。

- 火力を自動で強火・弱火に調節し、設定した温度をキープしますので、揚げものや焼きもの調理ができます。

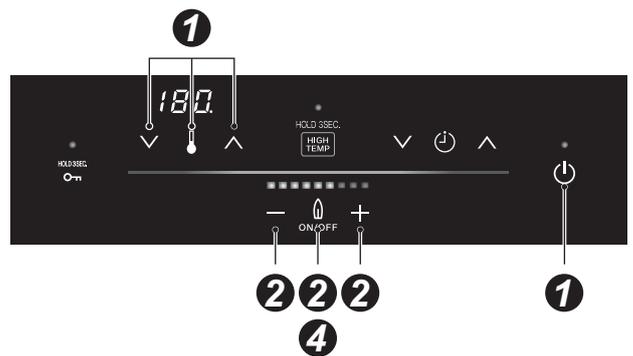
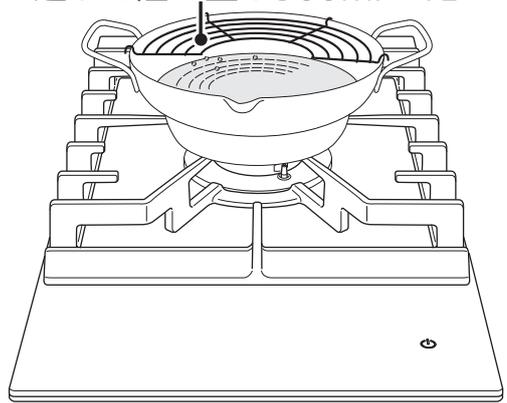
	適した鍋	適した油の量
揚げもの	底の平らな鍋 中華鍋 フライパン 材質：鉄、銅、アルミ、ホーロー、 厚手（2.5mm以上）の ステンレス	500ml～1L
焼きもの*	フライパン 材質：アルミ、銅	—

※温度設定モードを使って焼きもの調理をする場合は、アルミ、銅製のフライパンをお使いください。

鉄、ホーロー、ステンレス製のフライパンを使うと、途中消火する場合があります。

揚げもの調理でアルミ・銅製の鍋を使うときは、ブザーが鳴って約1～2分後に食材を入れてください。
ブザーが鳴っても油の温度が設定温度より低いからです。

ごとの中央に鍋などを置く
適した油の量：500ml～1L



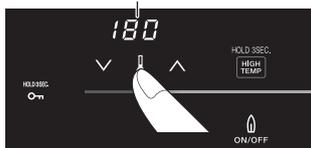
1 電源を入れ、温度を設定する

基本の操作(使いかた)①を行う。☞ 17 ページ

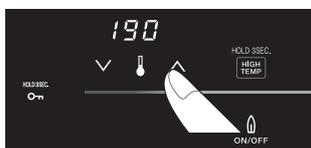
🔥 スイッチを押す。

初回使用時は「180」(180℃)が表示されます。

点灯(赤)



⏴ ⏵ スイッチを押し、温度を設定する。



130～220℃まで10℃刻みで設定できます。押し続けると、設定の上限・下限まで設定できます。

お知らせ

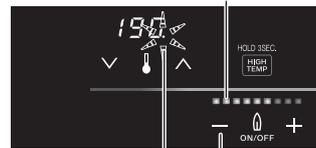
- 点火後も温度設定モードを設定できます。
- 取り消すときは、もう一度温度設定スイッチを押します。
- タイマーモードを使って、調理する時間を1～120分の間で設定できます。☞ 21 ページ
最初は「5」(5分)が表示されます。タイマーは設定温度になると、カウントダウンを始めます。

2 点火し、火力を調節する

🔥 スイッチを押して、**+** スイッチを押す。



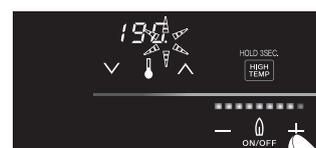
点灯(赤)



点灯(白)

点火後、設定温度に到達するまで点滅します。

- + スイッチを押す。



お願い

- 火力は鍋などの径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。

ワンポイント

●揚げものの以外の火加減が難しい調理にもうまくご利用ください。

設定温度の目安

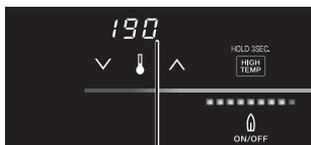
←→ : アルミ・銅 <-----> : 鉄・ホーロー・ステンレス

温調範囲 (130~220℃)		130	140	150	160	170	180	190	200	210	220
揚げもの	とりのから揚げ、とんかつ			<----->							
	てんぷら、冷凍コロッケ						<----->				
	手作りコロッケ							<----->			
焼きもの	厚焼き卵、ハンバーグ、クレープ	<----->									
	ホットケーキ			<----->							
	お好み焼き					<----->					
	ステーキ、ポークソテー							<----->			

揚げもの・焼きものをする

3 調理をはじめると

設定温度になると、ブザーでお知らせ。



消灯

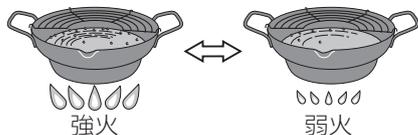


お願い

- 調理中は、機器から離れないでください。調理中のものが異常過熱し、火災の原因になります。
- 調理中に火が消えた場合は、設定温度が取り消されます。再度、操作①から行ってください。

お知らせ

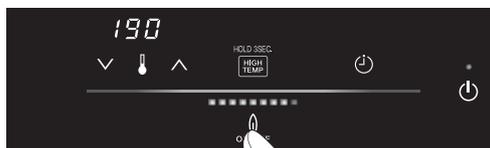
- 設定温度は、調理中でも変更できます。
- 調理中は、自動で強火・弱火を繰り返して、設定温度を保ちます。



- 弱火から火力が自動で強くなるときに、ブザーが「ピピピッ」と鳴ってお知らせします。(調節した火力によっては鳴らないこともあります。)

4 火を消す

ON/OFF スイッチを押す。



火が消えます。消灯 0.5秒後



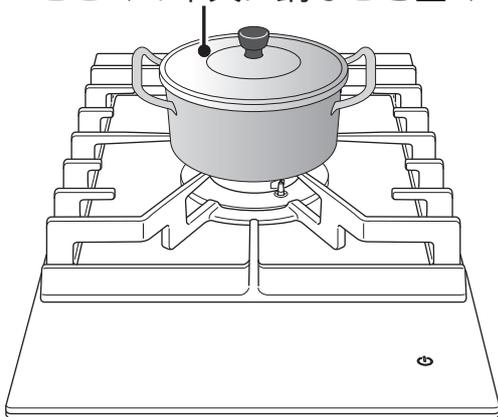
お願い

- 必ず火が消えたことを確認してください。

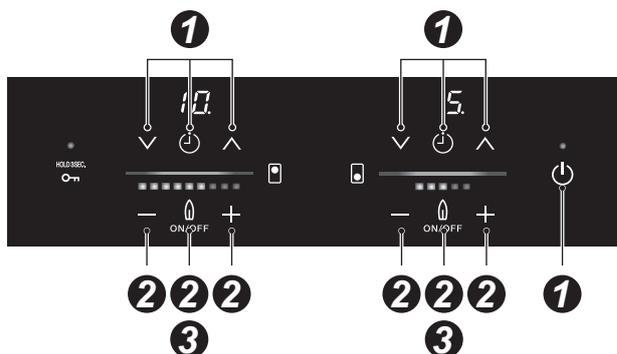
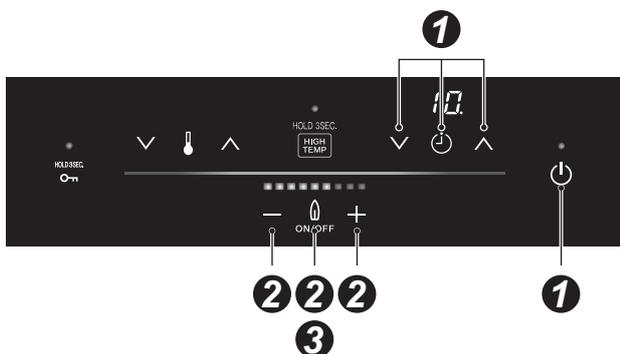
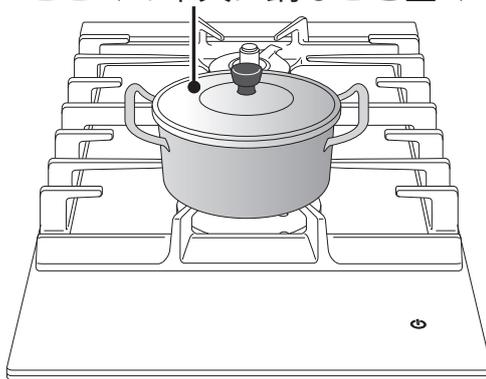
タイマーを使う

- 設定時間になるとお知らせし、自動で火を消します。
- めんをゆでたり、あともう少し煮込みたいときの消し忘れ防止に便利です。

ごとくの中央に鍋などを置く



ごとくの中央に鍋などを置く



下記の操作は、RHD312GM1RA で説明しています。

1 電源を入れ、時間を設定する

基本の操作(使いかた)①を行う。▶ 17 ページ

1 スイッチを押す。

最初は「1」(1分)が表示されます。



2 スイッチを押し、時間を設定する。



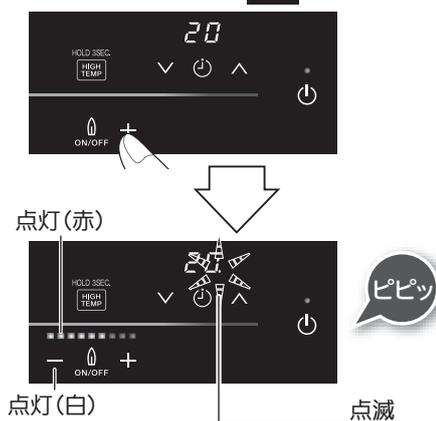
1～120分まで1分刻みで設定できます。
押し続けると、30分までは5分刻み、30分以降は10分刻みで設定できます。

お知らせ

- 点火後もタイマーモードを設定できます。
- 設定時間は、調理中でも変更できます。
- 取り消すときは、もう一度タイマースイッチを押します。
- タイマー設定中は、消し忘れ消火機能は、はたらきません。

2 点火し、火力を調節する

1 スイッチを押して、**+** スイッチを押す。



点火すると、ドットが点滅し自動でタイマーがスタートします。

+ スイッチを押す。

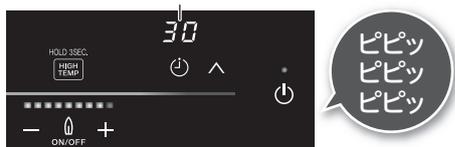


お願い

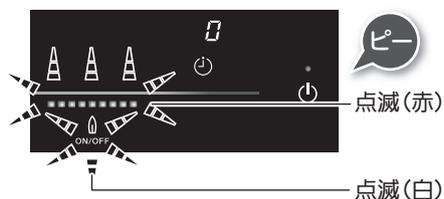
- 火力は鍋などの径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。

設定時間の 30 秒前になると、ブザーでお知らせ

分から秒表示に
変わる

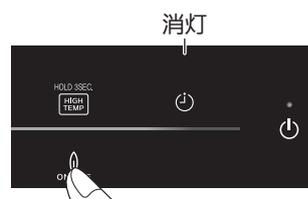


設定時間になると、ブザーでお知らせ
自動で火が消えます。



3 消灯する

 スイッチを押して、消灯する。



お知らせ

- ON/OFF スイッチを押さないときは、電源がオートオフになるまで火力表示ランプ・ON/OFF スイッチは点滅、タイマー表示部は点灯します。

炒めもの・いりものをする (RHD312GM1RAの場合)

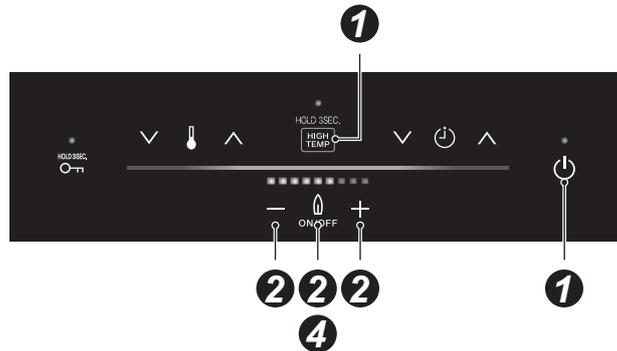
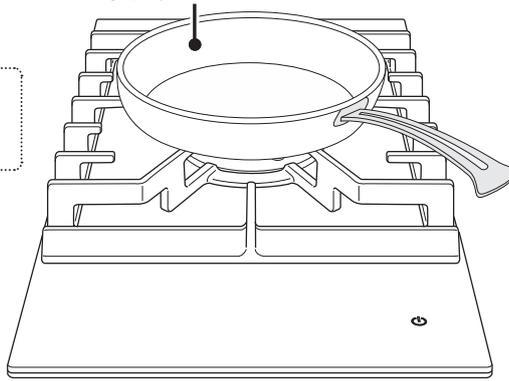
※本機能は RHD312GM1RA に搭載しています。

- 炒めもの、いりもの、あぶりものなどで急に火が小さくなったり、消えてしまう場合に使用します。「調理油過熱防止装置」「焦げつき消火機能」を一時的に解除します。

ごとの中央にフライパンなどを置く

こんなとき高温炒めモード

- 急に火が小さくなったり、消えてしまう場合



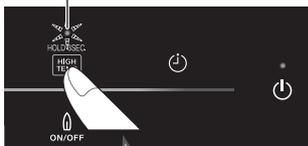
1 電源を入れ、高温炒めを設定する

基本の操作(使いかた)①を行う。☞ 17 ページ

HIGH TEMP スイッチを3秒以上押す。

ランプが点滅から点灯に変わり、ブザーでお知らせします。

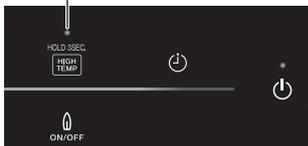
点滅(赤)



「ピピピッ」と鳴るまで押す

3秒後

点灯(赤)



ピピピッ

お知らせ

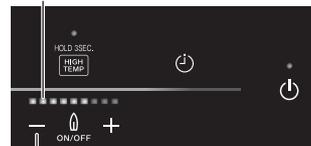
- 点火後も高温炒めモードを設定できます。
- 取り消すときは、もう一度高温炒めスイッチを押します。
- 火が消えると、高温炒めモードは取り消されます。
- 高温炒めスイッチを押しているときに他のスイッチを押すと、高温炒めモードは設定されません。
- タイマーモードを使って、調理する時間を1～60分の間で設定できます。☞ 21ページ 最初は「！」(1分)が表示されます。

2 点火し、火力を調節する

ON/OFF スイッチを押して、**+** スイッチを押す。



点灯(赤)



点灯(白)

- **+** スイッチを押す。



ピッ

お願い

- 火力は鍋などの径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。

ワンポイント

◇温度センサーのはたらき

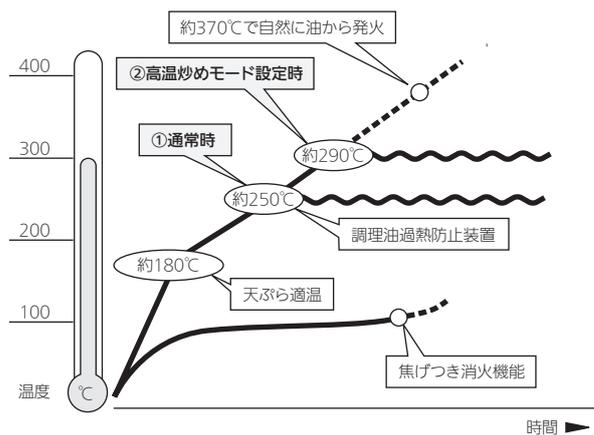
①通常時

温度センサーのはたらきにより、炒めものやいりものなど比較的温度の高い調理や、鍋の空焼きをしたときに、火力を自動で調節したり、自動で火を消したりします。

②高温炒めモード設定時

高温炒めモードは温度センサーがまったくはたらかなくなる機能ではなく、①通常時よりも高い温度まで調理できる機能です。高温炒めモードを使用した場合でも、鍋の異常過熱を防ぐために、火力を自動で調節したり、自動で火を消したりします。高温炒めモードに設定してから、最長 60 分（火力自動調節に入ってから約 30 分）で、自動で火を消します。ただし、タイマーの設定時間または消し忘れ消火機能の設定時間になった場合は、自動で火を消します。

高温炒めモード設定中は、焦げつき消火機能や調理油過熱防止装置は、はたらきません。



3 調理をはじめめる

お願い

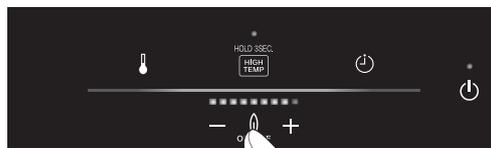
- 加熱したフライパンなどに少量の調理油しか入れない場合は、油の温度が急激に上がり、発火のおそれがありますので注意してください。

お知らせ

- 弱火から火力が自動で強くなるときに、ブザーが「ピピピッ」と鳴ってお知らせします。（調節した火力によっては鳴らないこともあります。）

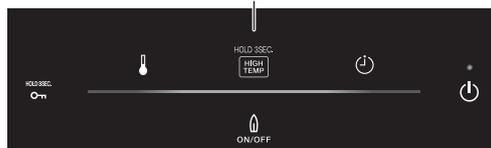
4 火を消す

ON/OFF スイッチを押す。



火が消えます。0.5秒後

消灯



お願い

- 必ず火が消えたことを確認してください。

炒めもの・いりものをする

警告



■高温炒めモードで揚げもの調理をしない
調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。



■焼網は使用しない
トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。

注意



■あぶり調理をする場合は、温度センサーの真上は避ける
温度センサー上に焼き汁などが滴下して温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できずに発火や途中消火、機器焼損の原因になります。また、焼き汁の滴下量や位置により、温度センサー故障の原因になります。

各種設定の変更

以下の機能の設定を変更することができます

表示部	機能	内容	設定項目
01	電源オートオフ時間	電源オートオフの時間を設定できます。	1分～25分(1分刻み) 3分(初期設定)
※ 02	消し忘れ消火時間	消し忘れ消火機能の時間を設定できます。	30分～120分(10分刻み) 120分(初期設定)
※ 03	自動火力調節ブザー	安全機能や便利機能がはたらき、弱火から火力が自動で強くなる時のお知らせブザーの on/off を設定できます。	oFF ⇔ on (初期設定)
04	レンジフード連動機能	レンジフードをコンロと連動させる機能の on/off を設定できます。	自動 oFF ⇔ 自動 on (初期設定)
05	レンジフード風量切替	レンジフードの風量を自動で切り替える機能の on/off を設定できます。	自動 oFF (初期設定) ⇔ 自動 on
06	オールリセット	カスタマイズしたすべての設定を初期設定に戻します。	(RHD322GM1TA) 前コンロのタイマーセット スイッチ[▲]を3秒押す。 (RHD312GM1RA) タイマーセットスイッチ [▲]を3秒押す。
07	最新エラー履歴	最新のエラーを確認できます。	(RHD322GM1TA) 検出箇所のコンロ表示ランプと前コンロのタイマー表示部にエラーコードを表示。 (RHD312GM1RA) タイマー表示部にエラーコードを表示。

※ RHD322GM1TA は、標準バーナー・小バーナー同時に設定が変更されます。バーナーごとには設定できません。

設定のしかた

● RHD322GM1TA の場合

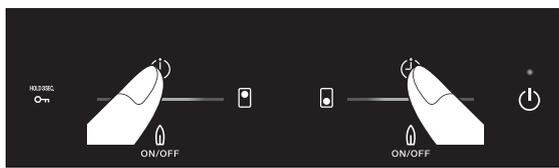
1 電源を入れる

電源スイッチを押す。

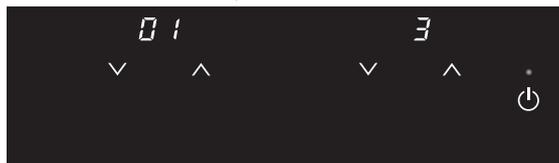


2 前・後コンロの
タイマースイッチ
を同時に押す

ブザーが鳴るまで3秒以上押す。



3秒後



3 設定変更する機能を
選ぶ

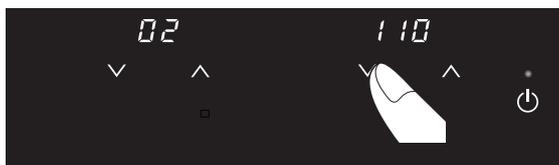
後コンロのタイマーセットスイッチ [▼/▲] を押す。

[▲] スイッチ…01、02、03…と表示部の数が増えます。
[▼] スイッチ…07、06、05…と表示部の数が減ります。



4 設定項目を変更する

前コンロのタイマーセットスイッチ [▼/▲] を押す。



一度電源を切ってから、使用してください。
各設定項目は左のページの表を参照してください。

● RHD312GM1RA の場合

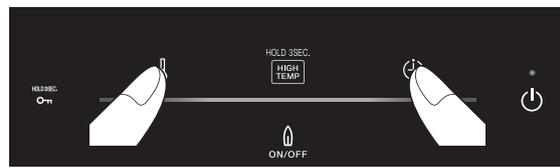
1 電源を入れる

電源スイッチを押す。

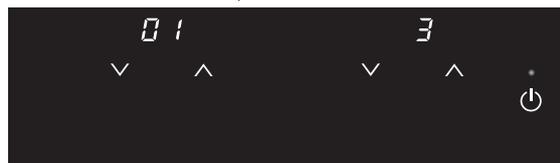


2 温度設定スイッチと
タイマースイッチを
同時に押す

ブザーが鳴るまで3秒以上押す。



3秒後



3 設定変更する機能を
選ぶ

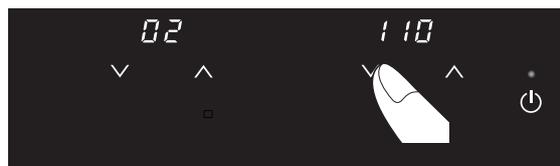
温度セットスイッチ [▼/▲] を押す。

[▲] スイッチ…01、02、03…と表示部の数が増えます。
[▼] スイッチ…07、06、05…と表示部の数が減ります。



4 設定項目を変更する

タイマーセットスイッチ [▼/▲] を押す。



一度電源を切ってから、使用してください。
各設定項目は左のページの表を参照してください。

各種設定の変更

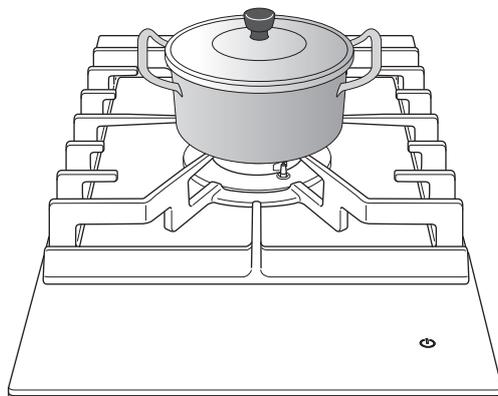
レンジフード連動機能

※購入時は、レンジフード風量切替が「OFF」に設定されています。使用する場合は、各種設定の変更（ 25・26 ページ）により、レンジフード風量切替を「ON」に設定後、お使いください。

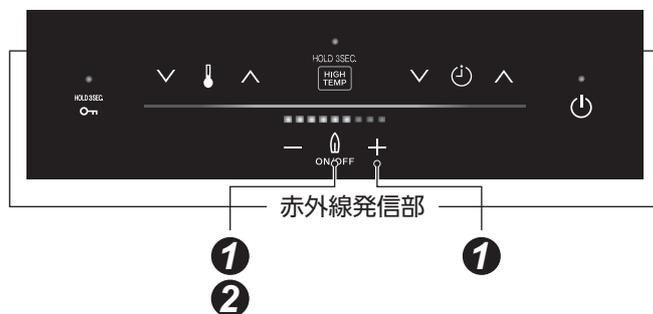
対応しているレンジフードとの組合せが必要です。

●自動運転（レンジフード連動）

点火・消火に合わせ、自動でレンジフードの運転・停止を行います。



※図は RHD312GM1RA で説明しています。

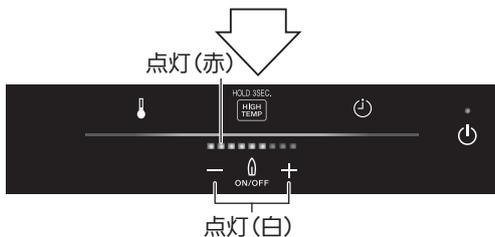
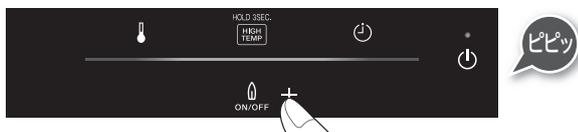


自動運転のしかた

1 点火する

 スイッチを押して、 スイッチを押す。

- 自動でレンジフードの運転が始まります。最初は「中」の風量で運転します。レンジフード風量切替を「ON」に設定した場合、その後、自動で調節します。



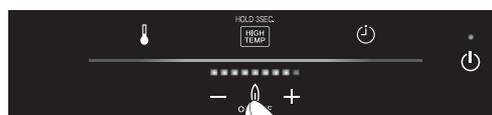
お知らせ

- すでに他のコンロを使用している場合は、火力によって風量を自動で調節します。
- 風量は、自動で調節します。変更したいときはレンジフードファン側の操作部で切り替えてください。

2 火を消す

 スイッチを押す。

- レンジフード設定の停止タイマー終了後に、自動でレンジフードの運転は停止します。



火が消えます。0.5秒後



お知らせ

- 火を消しても、他のコンロを使用中は停止しません。すべてのコンロを消火したとき、レンジフードが停止します。
- 自動で火が消えた場合（立消え安全装置作動、コンロタイマー作動時など）、レンジフードは自動で停止しません。レンジフード側の運転スイッチを押して停止してください。

お願い

- 指定外のレンジフードファンでは連動しません。お問い合わせはお買い上げの販売店、または当社お客様センター（フリーダイヤル：0120-054-321）にご連絡ください。
- レンジフード側が常時換気設定時に機器側を停止しても、レンジフードは停止しません。停止する場合はレンジフード側で操作してください。
- レンジフードの使いかた・連動のしかたについては、レンジフードに付属の「取扱説明書」をお読みください。

ワンポイント

以下のように操作すると作動しない場合がありますが、故障ではありません。

- ガス機器の近くに立ち過ぎている。
 - 赤外線発信部が鍋などでふさがれた状態になっている。
 - テレビ、エアコンなどのリモコンを操作している。
 - ガス機器、レンジフードに太陽光が当たった状態で操作している。
 - 赤外線発信部およびレンジフード本体の赤外線受信部が汚れている。
- ※連動しにくい場合は、レンジフード側の操作部で操作してください。

手動運転のしかた

① 運転を開始する

- レンジフード側の運転スイッチを押し、風量を設定してください。

② 運転を停止する

- レンジフード側の停止用スイッチを押し運転を停止してください。

照明の点灯・消灯のしかた

① 照明を点灯する

- レンジフード側の照明スイッチを押し、照明の点灯・消灯を行ってください。

日常点検とお手入れの道具

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期整備（有料）をおすすめします。
 - 煮こぼれや誤って鍋をひっくり返すなど、機器内部に多量の煮汁などが入った場合、機器の故障や寿命が短くなるおそれがありますので、整備（有料）をおすすめします。
- ※定期整備については、お買い上げの販売店、または当社お客様センターにお問い合わせください。
リンナイ（株）お客様センター フリーダイヤル：0120-054-321

日常点検をしましょう

部品が正しく取り付けられていますか？

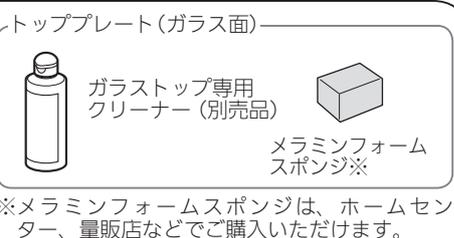
- バーナーキャップ、ごとく、吸気口カバーなどは、正しく取り付けられた状態でお使いください。☞ 31・32ページ

つまり、たまり、汚れはありませんか？

- バーナーキャップの炎口や立消え安全装置（炎検知部）、電極（点火プラグ）が煮こぼれなどでつまったり、汚れたりしていませんか。☞ 35ページ

お手入れの道具と洗剤について

使
っ
て
よ
い

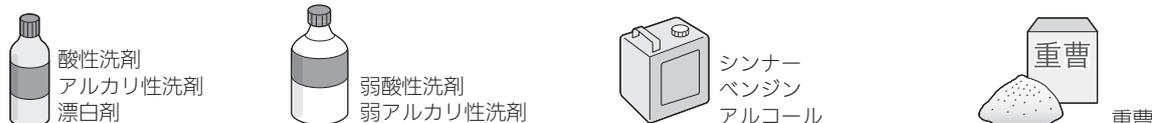


使
っ
て
は
い
け
な
い

傷・はがれの原因となります。



はがれ・表面の変質・変色・さび・割れの原因になります。



故障の原因になります。

- 機器内部に洗剤が入ると、電子部品などに付着して、作動不良や腐食などの機器故障の原因になります。必ず布に含ませてからお手入れしてください。

直接かけて使っては
いけないもの



引火して火災の原因になります。

絶対使っては
いけないもの



※当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト Rinnai Style にて取り扱いをしておりますお手入れ品につきましては、この限りではありません。使用方法・使用箇所を確認してから使用してください。

お願い

- 道具や洗剤は目立たない部分で試してから、使用してください。
- 食器洗い乾燥機で洗う場合、専用洗剤・食器洗い乾燥機の取扱説明書をよく読んでお使いください。また、煮洗いや食器洗い乾燥機で洗う場合などは、変色したり、ツヤがなくなったりする場合があります。

お手入れの手順

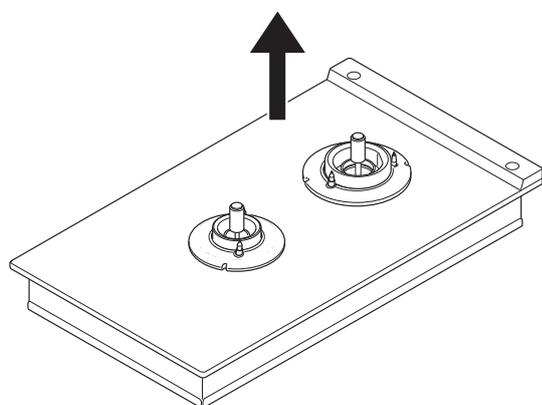
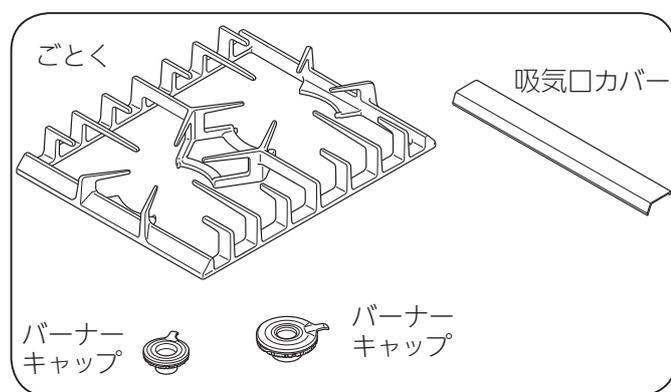
1. 機器が冷めていることを確認する。
2. ガス栓（ねじガス栓）を閉める。
3. ロックをして、電源を切る。🔒 18 ページ
4. 手袋をはめてお手入れを開始する。

取りはずして洗える部品

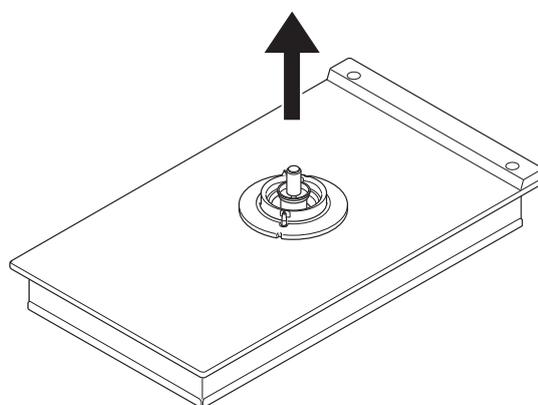
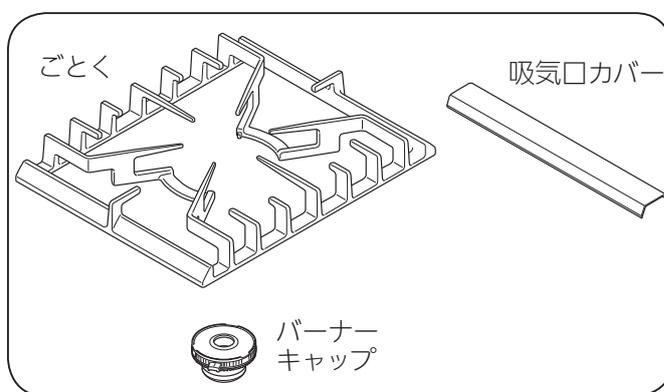
お手入れのとき、枠内に表示の部品は取りはずして洗うことができます。

※その他の部分は取りはずしできません。

RHD322GM1TA



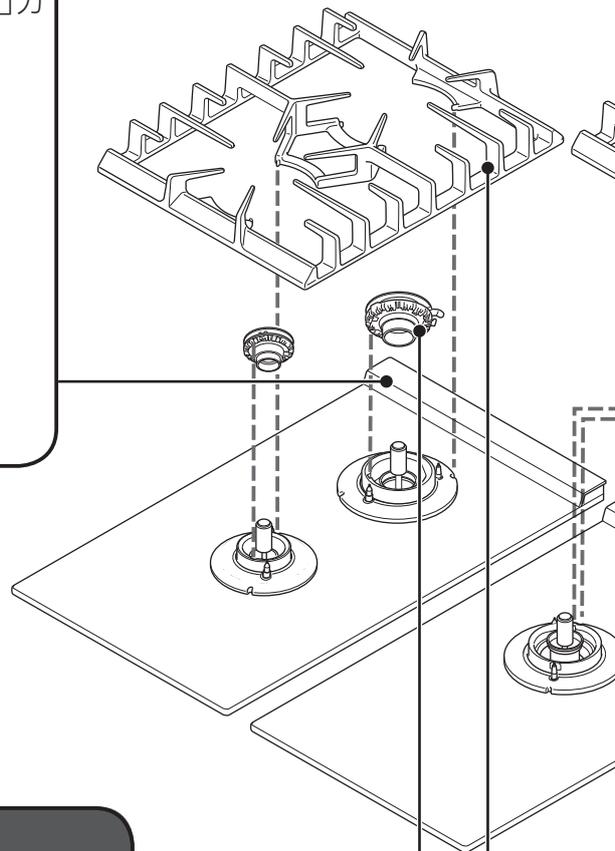
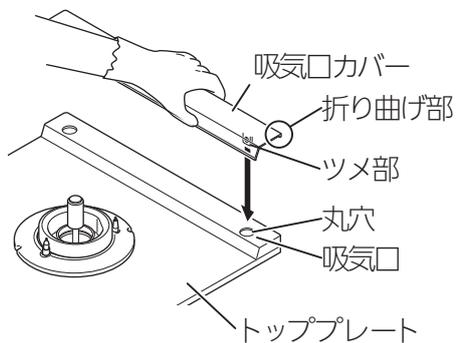
RHD312GM1RA



部品の取り付けと取りはずし

吸気口カバー

吸気口カバーの折り曲げ部を奥にして、吸気口の丸穴に吸気口カバーツメ部2カ所を入れて、正しく取り付ける。
※傾きのないことを確認してください。

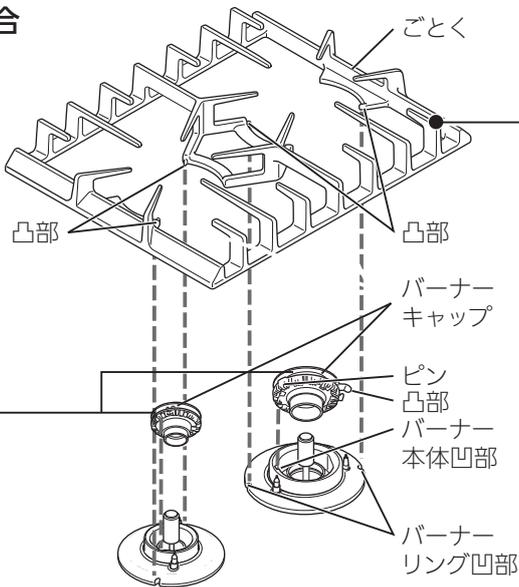


ごとく・バーナーキャップ

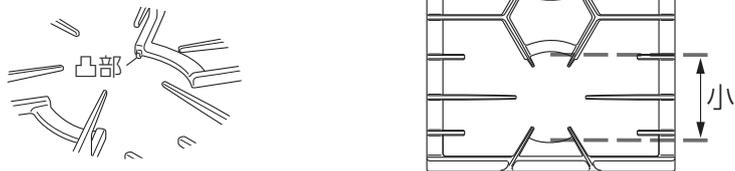
● RHD322GM1TA の場合

小バーナー用 標準バーナー用

1. バーナーキャップの凸部を奥にして、バーナー本体手前側の凹部にバーナーキャップのピンを入れて、正しく取り付ける。



2. リング部の「小」を手前にして、バーナーリング前後の凹部2カ所にごとく内側の凸部2カ所を入れて、正しく取り付ける。



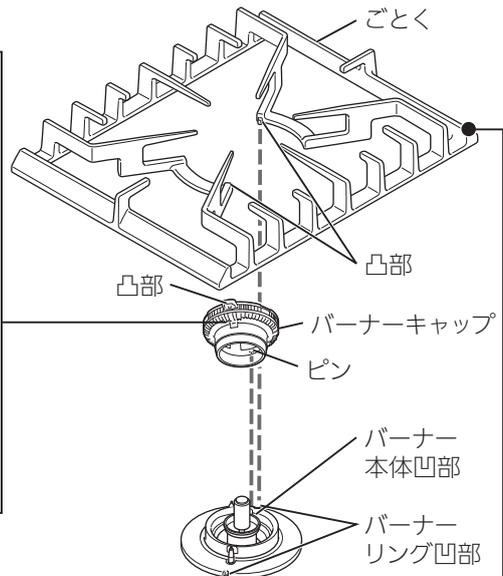
ごとく・バーナーキャップ

● RHD312GM1RA の場合

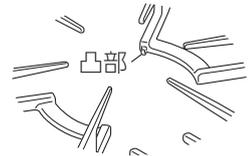


凸部
強火力バーナー用

1. バーナーキャップの凸部を手前にして、バーナー本体奥側の凹部にバーナーキャップのピンを入れて、正しく取り付ける。



2. バーナーリング前後の凹部 2カ所にごとく内側の凸部 2カ所を入れて、正しく取り付ける。

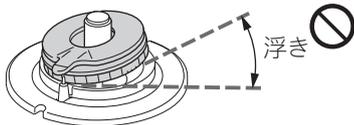


⚠ 注意

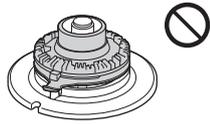


■バーナーキャップは誤った取り付けで使用しない

- バーナーキャップを正しく取り付けないと点火しない場合があります。
- 炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれやバーナーキャップが変形する場合があります。
- 機器の中に炎がもぐりこんで焼損する原因になります。



バーナーキャップの浮き

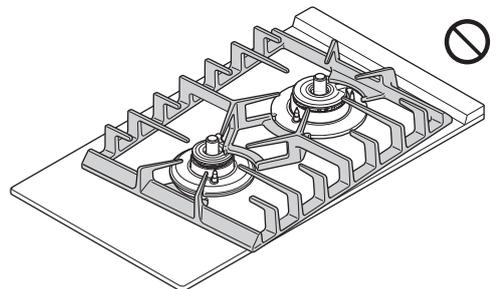


バーナーキャップの裏返し



■ごとくは誤った取り付けで使用しない

- 誤った取り付けをすると鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れたりします。



誤った取り付けの例

お願い

- バーナーキャップを取り付けたときは、必ず正常に燃焼しているか確認してください。
 - バーナーキャップは分解しないでください。
 - バーナーキャップ、ごとくは消耗部品です。バーナーキャップは厚みが薄くなったり、変形して炎がふぞろいになった場合は、交換してください。
- 当交換部品・お手入れ品などの販売サイト Rinnai Style または、お買い上げの販売店にてお買い求めください。 44 ページ

部品の取り付けと取りはずし

お手入れのしかた

お手入れは、機器が冷め、ガス栓を閉め、

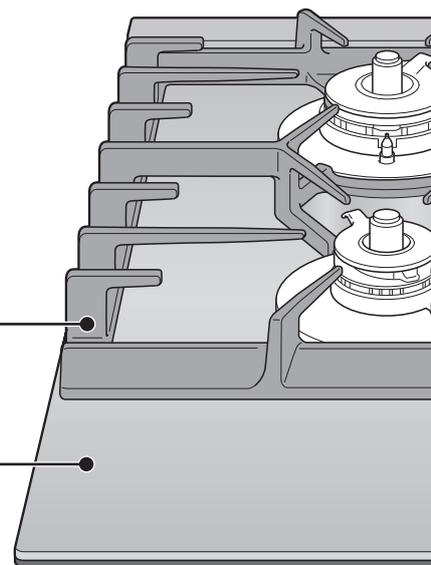
- 汚れたら、そのつど、きれいにお手入れしてください。
- 手袋をしてお手入れをしてください。
- 洗剤は台所用中性洗剤を薄めて使い、お手入れの最後には必ず水ぶきし、乾いた布でふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。

お願い

- 硬いブラシやたわしは使用しないでください。また、中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。はがれ・変色・シミ・傷・さびなどの原因になります。  29 ページ

ごとく

トッププレート



トッププレート(ガラス)

- お手入れのときはごとく、吸気口カバーなどの部品を取りはずし、安定した状態で行ってください。
- 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。
- トッププレートとワークトップとのすき間のお手入れは、歯ブラシなどで汚れを取り除きます。

汚れがこびりついたとき

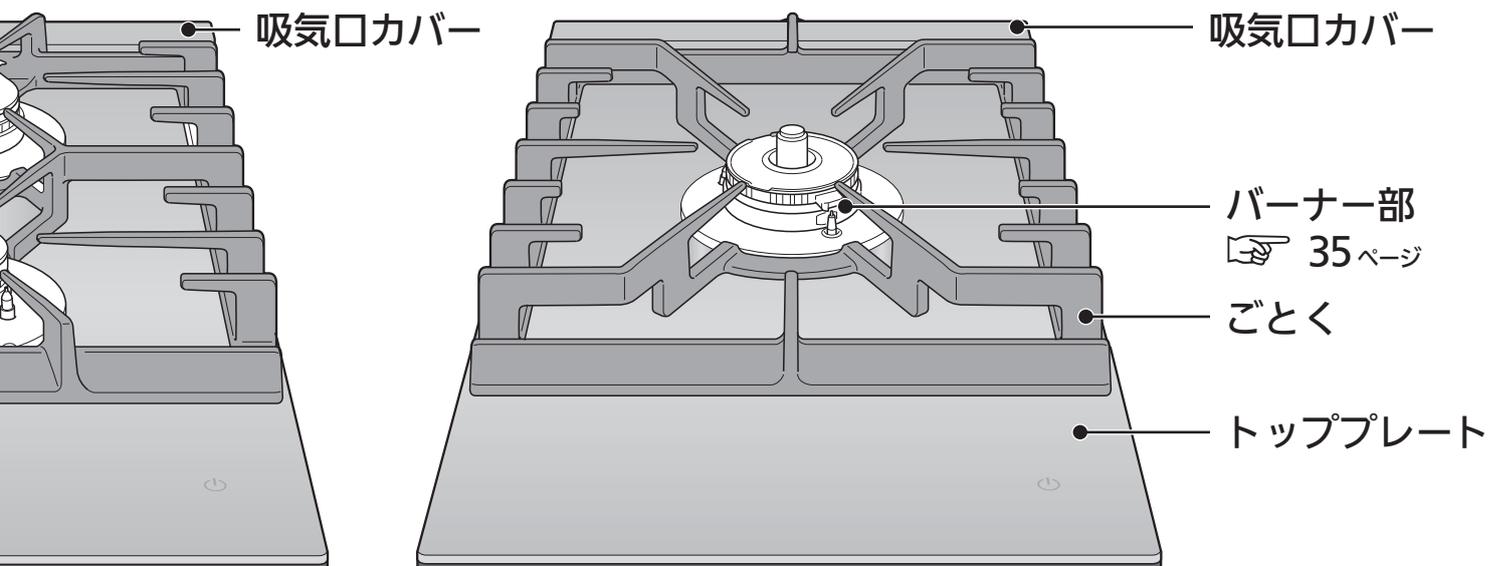
1. キッチンペーパーに洗剤と水を含ませ、汚れた部分を湿らせておく。
2. 汚れが浮いてきたら、やわらかい布でふき取る。

それでも汚れが取れないとき

1. くしゃくしゃにしたラップに別売のガラストップ専用クリーナーを塗り、こする。
2. 汚れが取れたら、やわらかい布で水ぶきし、乾いた布で仕上げる。

❑お願い

- トッププレートには、安全に関する注意ラベルが貼り付けてあります。もし、はがれたり、読めなくなった場合は、当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト Rinnai Style または、お買い上げの販売店にてラベルを購入し、貼り替えてください。



吸気口カバー

- 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。そのままにしておくともりが残ったり、焦げついて汚れが取れにくくなります。また、砂糖やしょう油を含んだものをこぼすと、こびりついて取れなくなり表面が腐食する原因になります。
※食器洗い乾燥機を使用しないでください。変色したりツヤがなくなったりする場合があります。
- ※ステンレス製の台やシンクなどに、ぬれたまま放置すると、台やシンクなどを傷める場合があります。

ごつく

- 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。そのままにしておく、シミが残ったり、変色する場合があります。
※食器洗い乾燥機を使用しないでください。塗装のはがれやパッキンが劣化するおそれがあります。万が一パッキンがはがれた場合は、ごつくを交換してください。☞ 44ページ

汚れがこびりついたとき

1. キッチンペーパーに洗剤と水を含ませ、汚れた部分を湿らせておく。
2. 汚れが浮いてきたら、やわらかい布でふき取る。

- ご使用のつど、きれいにお手入れをしてください。
- 手袋をしてお手入れをしてください。
- 洗剤は台所用中性洗剤を薄めて使い、お手入れの最後には必ず水ぶきし、乾いた布でふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。

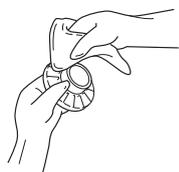
※各部品の取り付けについては、 31・32ページをご覧ください。

バーナー部

- やわらかい布でふき取り、乾いた布で仕上げます。

バーナーキャップ

- 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。そのままにしておくと、シミが残ったり、変色する場合があります。



※バーナーキャップの上部と下部を分解しないでください。



※水洗いした後は、水気を十分ふき取ってから、取り付けてください。

❖炎口が目づまりしていたら

- 歯ブラシなどで汚れを取り除きます。
- ※目づまりや汚れは、不完全燃焼や点火不良の原因になります。
- ※汚れがこびりついたときは、つまようじで汚れを取り除いてください。



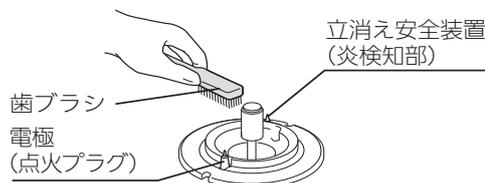
バーナー本体

- 表面は、やわらかい布で汚れをふき取ります。



立消え安全装置・電極

- 歯ブラシなどでお手入れをします。
- ※電極(点火プラグ)の先端はとがっていますので、けがなどに注意してください。
- ※汚れや水気が残っていると、点火不良の原因になりますので、水気を十分ふき取ってください。



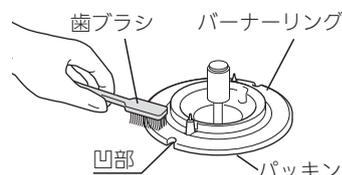
温度センサー

- 片手を添え、水を含ませて硬くしぼった布で、頭部と側面の汚れをふき取ります。
- ※強い力を加えると、温度センサーが傾いて、鍋底に密着しないことがあります。また、温度センサーを無理に回転させないでください。故障の原因になります。



バーナーリング

- 表面は、やわらかい布で汚れをふき取ります。
- バーナーリングの凹部は、歯ブラシなどで汚れを取り除きます。
- ※汚れがたまると、ごとくが安定しない原因になります。
- ※汚れがこびりついたときは、つまようじで汚れを取り除いてください。
- ※トッププレートとバーナーリングの間にあるパッキンを傷つけないように、トッププレートとのすき間につまようじやブラシを寝かせて使用しないでください。パッキンがずれたり、傷がつくと煮こぼれが内部に入る原因になります。

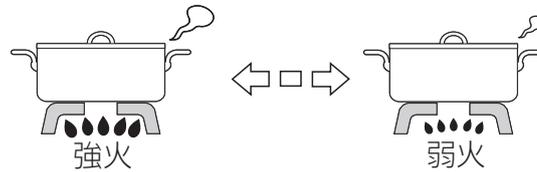


特に多いご質問をまとめました

① 勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

⇒温度センサーがはたらいて、火力を自動で調節しながら、高温になり過ぎるのを防いでいます。故障ではありません。☞ 24・37ページ

安全機能がはたらいて、コンロが自動で火力を調節しています



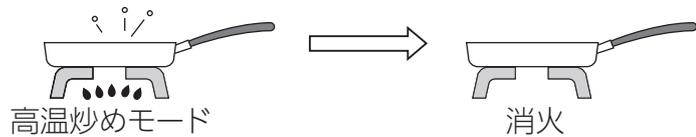
※この状態が約30分続くと、自動で火を消します。

※調理に支障があるときは、高温炒めモードに設定すると、さらに高温で調理ができます。(強火力バーナー)

② 高温炒めモードに設定したのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

⇒高温炒めモードに設定中でも温度センサーがはたらいて、火力を自動で調節します。高温炒めモードに設定し、火力自動調節に入ってから約30分で、自動で火を消します。故障ではありません。☞ 24・38ページ

高温炒めモード設定中でも、安全機能がはたらきます



※高温になり過ぎたときも自動で火を消します。

※高温炒めモードに設定してから、最長60分で自動で火を消します。(強火力バーナー)

③ 点火操作をして、パチパチするのに、点火しない

⇒電極(点火プラグ)や立消え安全装置(炎検知部)、バーナーキャップがぬれていたり、汚れていたりしていると、点火しないことがあります。水気や汚れを取ってから、点火操作してください。☞ 35・37ページ

よくあるご質問 (Q&A)

ご質問

こうしてください

参照ページ

電源が入りにくい
(または入らない)

お手入れなどで誤って触れても電源が入らないようにしています。
他のスイッチより長く (1 秒以上) 押ししてください。

—

停電復帰後、停電時用電池ケースに乾電池を入れたままにしておくと、電源が入りません。

43

点火しない

ガス栓 (ねじガス栓) を閉めていると、点火できません。
全開にしてください。

17

バーナーキャップの炎口に煮こぼれなどがつまっていると、点火しない場合があります。
お手入れしてください。

35

電極 (点火プラグ) や立消え安全装置 (炎検知部)、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。
お手入れしてください。

35

バーナーキャップが正しく取り付けられていないと、点火しない場合があります。
正しく取り付けてください。

32

長時間使用していなかったり、朝一番に使用する際などは、点火に時間がかかる場合があります。
点火操作を繰り返してください。

—

電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？

—

ロックされていると、点火できません。
ロックを解除してください。

18

調理中に
火力が変わったり
火が消えたりする

鍋やフライパンの温度が約 250℃の温度を保つよう、安全機能がはたらき、火力を自動で調節します。この状態が約 30 分続くと自動で火を消します。高温炒めモードを使用すると、さらに高温で調理ができます。(強火力バーナー)

23・24

土鍋や耐熱ガラス容器、圧力鍋を使用すると、まれに焦げつき消火機能がはたらき、火が消えることがあります。
再点火してください。
また、高温炒めモードを使用してください。(強火力バーナー)

15・16
23

機器下部のキャビネットとびらを速く開閉すると、消火することがあります。
ゆっくり操作してください。万一火が消えても立消え安全装置がはたらき、自動でガスを止めます。

16

コンロは約 2 時間、または設定の変更 (カスタマイズ機能) により設定した時間で消し忘れ消火機能がはたらき、自動で火を消します。

16

操作部の過熱防止センサーが作動しました。操作部を覆ってしまうような大きな鍋や焼網などを使用した場合、消火する場合があります。冷めるのを待ってから、再点火を行ってください。

—

火力が変わらない

火力を調節しても炎の変化が小さかったり、変化しないように見える位置があります。
異常ではありません。

—

ご質問	こうしてください	参照ページ
高温炒めモードに設定しても火力が変わったり火が消えたりする	高温炒めモードに設定中でも約 290℃の温度を保つよう、異常過熱を防止するために、火力を自動で調節します。さらに温度が高くなると自動で火を消します。	24
火力表示ランプと実際の火力が違う	鍋底が高温になっている場合、火力を自動で調節する機能がはたらき火力表示ランプと実際の火力が違う場合がありますが、異常ではありません。	—
炎の状態（燃えかた、色）がおかしい	バーナーの炎口が汚れや水滴で目づまりしていると、正常に燃焼しない場合があります。お手入れしてください。	35
	バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	32
	換気をしないと燃えかたが変わったり、炎が赤くなったりします。使用中は必ず換気してください。また、炎がごとくやバーナーキャップに触れて赤くなることがありますが、異常ではありません。	9
	風が吹き込んでいたり、扇風機やエアコンなどの風が当たっていると、炎がかたよったり、色が赤くなったりします。炎に風が当たらないようにして使用してください。	9
	加湿器を使用すると、水分に含まれるカルシウムにより、炎が赤くなることがあります。異常ではありません。	—
	火力が変わる際に炎が一瞬黄色くなったり、大きくなる場合があります。異常ではありません。	—
	消火後も数秒間コンロバーナーの炎口に小さな炎が残ることがあります。バーナー内に残った微量のガスによるものです。異常ではありません。	—
	複数のバーナーを同時に使用すると、炎がゆらぐことがあります。異常ではありません。	—
鍋底がひどく焦げついて火が消えた	焦げつき消火機能は鍋の材質や調理により、焦げつきの程度が変わります。ホーローの鍋や、カレー、シチュー、カラメル、みそなどの水分が少ない料理は、焦げやすくなります。弱火でときどきかき混ぜながら調理してください。	16
	温度センサーや鍋底が汚れていたり、温度センサーが鍋底から離れていませんか？このようなときは、鍋の温度を正しく検知できません。	15・35
	鍋底にこんぶや竹皮などを敷くと、焦げつきがひどくなる場合があります。ときどきかき混ぜたり、火加減を調節しながら調理してください。	16
焼網が使えない	大きななすやパプリカなどは、フォークや金串に刺し、高温炒めモードを使用して、コンロ上であぶり調理してください。（強火力バーナー）	—

よくあるご質問 (Q&A)

ご質問

こうしてください

参照ページ

コンロ

天面操作できない

操作部に煮こぼれ、水、洗剤、ものなどがのっていませんか？
また、手や指などが触れたままになっていませんか？
このようなときは、スイッチが正常に作動しません。
電源を切り、取り除いてから数秒待った後で再度設定し、操作してください。

17

指に指サックや傷テープ、手袋などをしていませんか？
直接、指を押しつけてください。

—

操作スイッチを離す前に他のスイッチを押したり、同時に他のスイッチを押したり、押し続けたりするとスイッチが正常に作動しません。

—

停電などで電源が復帰する場合、操作部に触れていたり、調理器具などがのっていたりすると、操作できない場合があります。
操作できない場合は、電源と専用ブレーカーをいったん「切」にし、1分程度待ってから「入」にし直してください。また、専用ブレーカーを「入」にした後は、5秒程度機器に触れないでください。

—

温度設定モード

揚げものがうまくできない

鍋の形状や材質、油の量によっては、油の温度が設定温度より高めになったり、低めになったりする場合があります。
設定温度を加減して使用してください。

15・19

温度センサーや鍋底が汚れていたり、温度センサーが鍋底から離れていませんか？
このようなときは、鍋の温度を正しく検知できません。

15・35

音

コンロ消火後に「ポン」という音がする

ガスが燃え尽きる際に発生する音です。
異常ではありません。

—

使用中や使用後にキシミ音がする

加熱や冷却により金属が膨張、収縮する音です。
使いかたによってはキシミ音が大きく聞こえますが、異常ではありません。

—

コンロ使用中に「シャー」という音がする

ガスがバーナー内部を通過する音です。
異常ではありません。

—

コンロの火力が切り替わるとき音がする

火力を調節するときの機器内のモーター音です。
異常ではありません。

—

コンロ使用中に「ピピッ」・「ピピピッ」とブザーが鳴る

火力自動調節に入ったときや、弱火から火力が自動で強くなるときに、ブザーが鳴ります。
異常ではありません。

16・20
24

ブザーが約8秒間鳴る

部品が故障しています。
ガス栓（ねじガス栓）を閉め、お買い上げの販売店、または当社お客様センター（フリーダイヤル：0120-054-321）にご連絡ください。

41・46

ご質問	こうしてください	参照ページ
点火すると他のバーナーもパチパチする	他のバーナーも同時にパチパチする構造です。異常ではありません。	—
点火／火力アップスイッチから手を離してもパチパチしている	点火／火力アップスイッチから手を離しても最長で 10 秒間パチパチが続きます。異常ではありません。	—
ごとく・バーナーキャップ・吸気口カバー・バーナーリングが変色する	ごとくの先端は、炎が当たり白くざらざらになります。異常ではありません。ごとくなどは消耗部品です。交換部品として販売しています。	44
	ごとくやバーナーキャップは、通常の使用でも変色や塗装がはがれる場合があります。性能に問題はありません。	—
	酸性やアルカリ性洗剤は、使用しないでください。台所用中性洗剤を薄めて使用してください。	29
部品が傷んできた	お客様にて取り替え可能な消耗部品は、傷んできたら早めに交換してください。	44
コンロ側の操作でレンジフードが連動しない	コンロの赤外線発信部やレンジフードの赤外線受信部が汚れていたり、直射日光が当たっていたりすると、連動しない場合があります。	27・28
	コンロの赤外線発信部がさえぎられた状態で操作すると連動しない場合があります。	27・28
	レンジフード連動機能が OFF になっていませんか？ on に設定してください。	25
コンロを停止してもレンジフードが停止しない	レンジフードタイマーの作動中や常時換気設定時は停止しません。すぐに停止させたい場合は、レンジフード側の停止用スイッチを押してください。	27・28

その他

よくあるご質問 (Q&A)

ブザーが鳴って、こんな表示が出たら

- 表示（数字）について、各コンロに関する表示は各コンロのタイマー表示部に表示されます。
- モードランプ、表示部を消灯する場合は ON/OFF スイッチを押してください。

表 示	ブザー音	内 容	原 因
0	ピー 1 回 (約 2 秒)	コンロタイマーモード終了 (温度設定モード、高温炒めモードで コンロタイマーを使用した場合)	設定した時間がたち、自 動で火が消えました。
00	ピー 3 回	消し忘れ消火機能の作動	使用開始から約 2 時間ま たは設定した時間がたち、 自動で火が消えました。
		高温炒めモード終了	高温炒めモードに設定し てから 60 分または、火 力自動調節に入ってから 約 30 分がたち、自動で 火が消えました。
01	ピー 3 回	モーター点火位置エラー	モーターの位置ずれを検 知しました。
02	ピー 5 回	調理油過熱防止装置の作動 焦げつき消火機能の作動	調理油の過熱・焦げつき・ 消し忘れによる過熱・空 炊きなど
06	ピー 3 回	電池電圧の低下（乾電池の使用時のみ）	乾電池が消耗しました。
11	ピー 3 回	点火時に着火しなかった	炎の吹き消え・煮こぼれ した場合・点火しなかつ た場合など
12	ピー 3 回	立消え安全装置の作動	
14	ピー 5 回	温度センサー過熱防止機能の作動 操作部過熱防止センサーの作動	過熱防止機能が作動したな どの異常を検知しました。
24	ピー 1 回 (約 8 秒)	高温炒めスイッチの故障	部品が故障しています。
31	ピー 1 回 (約 8 秒)	温度センサーの故障	
33	ピー 1 回 (約 8 秒)	操作部過熱防止センサーの故障	
53、71 72	ピー 1 回 (約 8 秒)	電子部品の故障	
76	ピー 1 回 (約 8 秒)	タッチスイッチ操作感度の異常	タッチスイッチ操作感度 の異常を検知しました。
79、80 81、82	ピー 1 回 (約 8 秒)	モーター位置エラー 元電磁弁の故障 セーフティバルブの故障	部品が故障しています。

ブザーが鳴って、こんな表示が出たら

処置と再使用時の注意	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> ● ON/OFF スイッチを押して消灯してください。 	21・22
<ul style="list-style-type: none"> ● ON/OFF スイッチを押して消灯してください。 ● 続けて使用する場合は、再点火を行ってください。 	16
<ul style="list-style-type: none"> ● ON/OFF スイッチを押して消灯してください。 	23・24
<ul style="list-style-type: none"> ● モーターの位置調整を自動で行いますので、5 秒程度してから再点火を行ってください。 	—
<ul style="list-style-type: none"> ● よくあるご質問（Q & A）「調理中に火力が変わったり火が消えたりする」「鍋底がひどく焦げついて火が消えた」を確認してください。 ● やけどに注意して再点火を行ってください。 ● 調理油過熱防止装置がはたらいで火が消えた場合（温度センサーが高温のままの状態）は、点火しても火が消える場合があります。ON/OFF スイッチを押して消灯し、冷めるのを待ってから、再点火を行ってください。 	16・37 38
<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい単 1 形アルカリ乾電池 (1.5V) 2 個と交換してください。 	43
<ul style="list-style-type: none"> ● よくあるご質問（Q & A）「点火しない」「調理中に火力が変わったり火が消えたりする」を確認してください。 ● 周囲にガスがなくなるまで待ってから、再点火を行ってください。 	16・37
<ul style="list-style-type: none"> ● ON/OFF スイッチを押して消灯してください。 ● 使用する場合は、冷めるのを待ってから再点火を行ってください。 	—
<ul style="list-style-type: none"> ● ガス栓（ねじガス栓）を閉め、使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社お客様センター（フリーダイヤル：0120-054-321）にご連絡ください。 	46
<ul style="list-style-type: none"> ● 再使用時に、同じ現象が出る場合は電源と専用ブレーカーを切り、1 分程度待ってから入れ直してください。その際、機器の上には何も置かず、5 秒程度機器に触れないでください。それでも同じ現象が出る場合は電源と専用ブレーカーを切り、ガス栓（ねじガス栓）を閉め、使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社お客様センター（フリーダイヤル：0120-054-321）にご連絡ください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● ガス栓（ねじガス栓）を閉め、使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社お客様センター（フリーダイヤル：0120-054-321）にご連絡ください。 	

ブザーが鳴って、こんな表示が出たら

停電時のご使用について

停電時バックアップ用電池ケースの使いかた

停電時に、電池ケースに単1形アルカリ乾電池（1.5V）2個をセットして、ご使用いただけます。停電時の使用以外は、必ず乾電池をはずしてください。入れたままにしておくと放電し、短期間で使用できなくなります。（乾電池は付属されていません。）

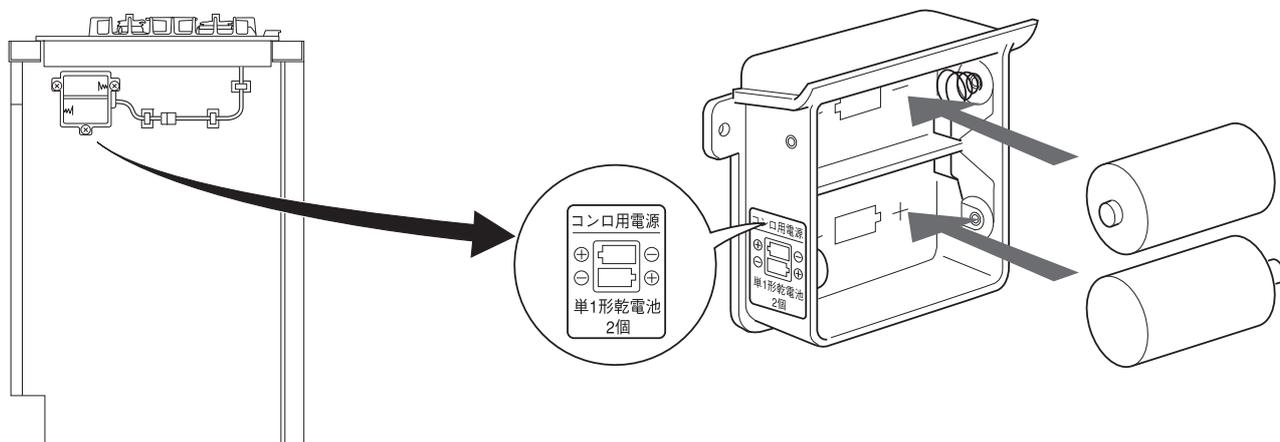
- RHD322GM1TA は、標準バーナーのみ使用できます。
- 安全装置は作動しますが、それ以外の機能は使用できません。
- 電池の消耗を抑えるため、減光表示になります。

1 機器が冷めていることを確認する

2 キャビネットのとびらを開ける

3 キャビネット内にある電池ケースに乾電池を入れる

- 単1形アルカリ乾電池（1.5V）2個を、下図のように⊕ ⊖の向きを確認して奥まで確実にはめ込んでください。
（電池ケースの左側に⊕ ⊖方向が表示してあります。）
- 複数台のコンロを設置した場合は、各コンロごとに電池ケースがあります。



停電復帰時のご使用について

使用中に停電が復帰した場合、自動で火を消します。

停電が復帰したときは、直ちに電池ケースから乾電池をはずして保管してください。

乾電池を入れたままの場合は、電源が入りません。

※乾電池を入れたまま電源を入れると、電源ランプが点滅（5回）し、ブザーが「ピピッ」と5回鳴って電源が切れます。（乾電池の抜き忘れをお知らせ）

お願い

- 乾電池に記載してある注意事項をよく読み、正しく使用してください。
- 新旧・異種の乾電池は使用しないでください。寿命が短くなったり、乾電池の発熱・破裂・液漏れなどにより、やけどやけがの原因になります。
- 乾電池は充電・分解・加熱・火の中へ投入しないでください。
- 交換の目安は、新品のアルカリ乾電池を使用して約12時間です。それ以外のマンガン乾電池などを使用すると、寿命が半分以下になります。使用状況により寿命は変わります。

交換部品・別売品のご紹介

交換部品（お客様にて取り替え可能な消耗部品）・別売品

- 消耗部品は傷んできたら交換してください。

交換部品をお求めの場合は「ご利用の機器本体型式」を、別売品をお求めの場合は「名称」・「型番」をご確認のうえ、当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト Rinnai Style または、お買い上げの販売店にてお買い求めください。

交換部品	名 称	
	ごとく	吸気口カバー
パーナーキャップ	—	

別売品	名 称	型 番
	ガラスストップ専用クリーナー	
スクレーパー S 型 <推奨品>※		オルファ社品番 35SB

- 2023年5月現在の仕様です。仕様は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- アルカリ乾電池（1.5V）は、もよりの電気店などでお買い求めください。
- 当社のインターネット販売サイト Rinnai Style では、上記以外の交換部品やお手入れ品などを幅広く取り扱っております。本製品の交換部品は、お客様自身でお取り替えできる部品が対象です。
Rinnai Style（リンナイスタイル） <https://www.rinnai-style.jp/>

Rinnai Style	銘板右上に記載の QR をスマートフォンなどで読み込むと、この製品のサポートページが表示されますので、「交換部品を探す」をタップしてください。 銘板の位置は、本書の「安全上のご注意（設置編）」をご覧ください。
---------------------	---

※スクレーパー S 型<推奨品>について

- トッププレートに傷が付くおそれがありますので、刃が傷んだ場合は、使用しないでください。
- 刃先は鋭利な刃になっていますので、取り扱いには十分に注意してください。
- 使用角度は約30°で使用してください。
- 当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト Rinnai Style または、一般の店舗にてお買い求めください。



長期間使用しない場合／仕様

長期間使用しない場合

- ガス栓（ねじガス栓）を必ず閉めてください。
- お手入れしておくと、次回使用するとき便利です。

仕 様

品 名	2口ガストロップインコンロ	1口ガストロップインコンロ
型 式	RHD322GM1TA	RHD312GM1RA
型 式 の 呼 び	RHD322GM	RHD312GM
型 式 名	RHD322GM	RHD312GM
質量(付属品含む)	9.0kg	8.5kg
外 形 寸 法	高さ 104mm × 幅 291mm × 奥行 515mm	
ガ ス 接 続 口	Rc1 / 2	
電 源	AC100V (50Hz - 60Hz 共用)	
消 費 電 力	6W (待機時消費電力 0.4W)	7W (待機時消費電力 0.4W)
安 全 機 能	調理油過熱防止装置・立消え安全装置・消し忘れ消火機能・焦げつき消火機能・ロック機能 中火点火機能 (RHD312GM1RA のみ)・電源オートオフ機能・高温自動温度調節機能	
点 火 方 式	連続放電点火式	
付 属 品	取扱説明書 (保証書付)、設置説明書、電池ケース	

(RHD322GM1TA)

ガ ス 種 (ガ ス グ ル ー プ)		ガ ス 消 費 量		
		個 別 ガ ス 消 費 量		全点火時 ガス消費量
		標 準 パ ー ナ ー	小 パ ー ナ ー	
都 府 弁 角	12 A	2.18kW	1.19kW	3.27kW
	13 A	2.33kW	1.27kW	3.51kW
L P ガ ス 用		2.30kW	1.27kW	3.51kW

(RHD312GM1RA)

ガ ス 種 (ガ ス グ ル ー プ)		ガ ス 消 費 量	
		個 別 ガ ス 消 費 量	
都 府 弁 角	12 A	4.88kW	
	13 A	5.25kW	
L P ガ ス 用		4.65kW	

アフターサービス

保証について

- 本書の裏表紙が保証書になっています。
- 保証書の内容のように、一定期間・一定条件のもとに無料修理いたします。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 必ず、「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みください。保証書を紛失されますと、無料修理期間中であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。

転居されるときは

- ガスには、都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。
- 転居する場合は、転居先のガス事業者にご連絡ください。
- ガスの種類（ガスグループ）が異なる地域へ転居される場合には、改造と調整が必要です。そのまま使用すると、正常なはたらきをしないだけでなく、故障・不完全燃焼・火災などの原因になります。必ず、転居先のガスの種類を確認してください。この場合の改造・調整にともなう費用は、保証期間内であっても有料となります。

補修用性能部品の保有期間

- 製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 保証期間が過ぎていても、修理すれば機能が維持できる場合は、有料で修理いたします。

廃棄するときは

□お願い

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。

修理を依頼されるときは

- 万一故障したと思われる場合は、まず「よくあるご質問（Q&A）」「ブザーが鳴って、こんな表示が出たら」☞36～42ページに従い、ご確認ください。それでも不具合のある場合は、ご自分で修理なさらず、ガス栓（ねじガス栓）を閉め、インターネットまたはお電話で修理をご依頼ください。インターネットの場合は、銘板右上に記載のQRをスマートフォンなどで読み込むと、この製品のサポートページが表示されますので、「修理・点検のお申込み」をタップしてください。銘板の位置は、本書の「安全上のご注意（設置編）」をご覧ください。また、お電話でのお申し込みは、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

リンナイ(株)お客様センター☎0120-054-321

- ご依頼される際は、次のことをお知らせください。
 - (1)品名および販売型式・ガス種（銘板表示のもの）☞13ページ
 - (2)詳しい故障内容・状況
 - (3)お名前・ご住所・電話番号

お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社は、お客様よりお知らせいただいたお客様の個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただきます。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

ガスドロップインコンロ 保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。本保証書の適用型式は45ページに記載してあります。

記

- 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社お客様センターにご相談ください。
リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120-054-321
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの当社窓口が無料修理いたします。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
(ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
(ニ) 火災・水害・地震・落雷・その他の天災地変や公害・異常電磁波・異常電圧・異常周波数による故障および損傷。
(ホ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
- (ヘ) 本書の提示がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日・販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
(チ) 指定外の燃料・電源(電圧)の使用による故障および損傷。
(リ) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調整の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは46ページをご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お客様	ご芳名	販売店	店名	扱者印
	ご住所		住所	
お買い上げ日	年 月 日	電話番号		

修理記録

年 月 日	修理内容

お客様へ

この保証書をお受け取りになるときにお買い上げ日・販売店名・扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表 052-361-8211

故障・修理・製品についてのお問い合わせ

■インターネットの場合

修理のお申し込み

お問い合わせ・サポート



■お電話の場合(お客様センター)

修理の受付: 365日24時間

お問い合わせ: 9:00~18:00

※日曜・祝日・当社指定休日を除く

フリーダイヤル 0120-054-321

携帯電話からは下記におかけください。(通話料が発生します。)

ナビダイヤル 0570-550-258

保守点検についてのお問い合わせ

保守点検コールセンター 0120-493-110

受付時間 9:00~18:00
※土日・祝日・当社指定休日を除く

(工場管理)
JS0049-033(00)
230200
06000005249420

